

そう、これが北高。

～輪になろう あの頃みたいに～



第54回

旭川北高等学校同窓会



旭川市中・市高 北高同窓会 総会・懇親会

とき／2019年8月10日(土) 午後6時より

ところ／星野リゾート OMO7 旭川(旧旭川グランドホテル)

3階グランドホール〈旭川市6条通9丁目〉



市中



市高



北高

主催/第54回旭川北高等学校同窓会実行委員会

校 歌

明るく普通の速さで

mf *V* *V*

1.あ た ー ら し ー き ぶ ん か り ー の は な の さ
3.か た ー わ し ー き み ど か り ー の ゆ う の べ は

V *pp*

ん ー ら ん と の や が て か お ら む み
く ー よ う の き ば な さ く あ さ み

p *V* *V*

ず ー き ー よ ー く や ま ー む ら さ き ら に め
ゆ ー ひ ー い ー で た ま ー す む こ ら が ま

V *f* *allargando* *V a tempo*

ぐ ー り ー た ー る ま な び の に わ よ あ
ど ー い ー し ー て ほ な ま べ を う た う み

V *f*

ふ る る よ ろ こ く び の い ざ て を と り て や
よ ゐ る よ そ こ の ゆ く て は あ ら た や

ff *V*

む な き ー あ ゆ み に ま こ と り を と め む
む な き ー の ぞ み に ひ か と り を と め む

校 歌

木村五一 作詞
津田 甫 作曲

一、
あたらしき文化の華の
燦爛とやがて薫らむ

水清く山紫に
めぐりたる学びの庭よ

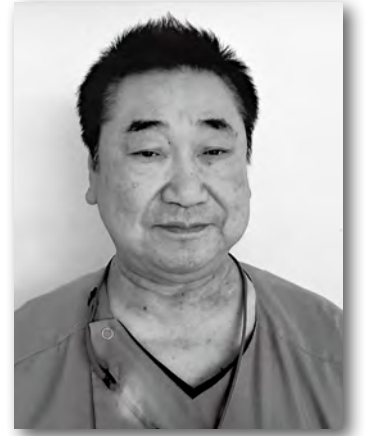
溢れる歓喜いざ手を把りて
止むなき向上に真理を求めむ

二、
逞しき腕の力は
遠つ代の祖に承けたり

汗あゆるその勤勞の
成せる郷土豊けき穰
とこしへ榮行くこの世に生きて
止むなき教養清純を讃めむ

三、
かぐはしき緑の夕
白瑤の樹氷咲く朝

眉秀で魂澄む子等が
まどろして誉を謳ふ
見よ見よ祖国の前途は新
止むなき希望に光明を添へむ



皆が一つの輪になつて

北海道旭川北高等学校同窓会会長

尾崎 信彦（北高25期）

会員の皆様、同窓会活動に深い御理解と御協力を頂き厚くお礼を申し上げます。

今年の8月の同窓会総会で丸3期6年間、同窓会長をさせていただきました。また、10年間副会長と合わせますと16年間もの長きにわたり同窓会と関わりを持ってまいりました。今年の総会で次世代の若いメンバーに後を託したいと思っております。

会長在任中に、同期の役員には大きな手助けをいただきました。改めて深く深く感謝したいと思っております。今後も同窓会とは微力ながら何かと関わりは続いて行くと思いますので、会員の皆様におかれましては、何卒よろしくお願い申し上げます。

さて、今年の同窓会は実行委員長の佐藤誉博さんをはじめ43期の皆さんに、「そう、これが北高」というキャッチ

コピーで、北高同窓会及び懇親会のお手伝いをお願いしております。いざという時の北高の団結力の強さを思い出させます。良い会になることを期待しております。

今年の卒業生も非常に頑張つて、現役で旭川医大の合格をはじめ、100名を超える卒業生が国立公立大学に進学しました。本当に頼もしく思います。

我が北高は文武両道の学校であることは言うまでもありませんが、今年の野球部は3度目の甲子園をねらえるくらい、良い選手がいると聞いておりますし、春季大会の旭川地区予選では準決勝で延長の末敗れましたが夏の甲子園の旭川地区予選はシード枠になっておりますので、3度目の甲子園へ出場できれば、この上ない喜びとなります。

ところで、本年も4月に新入生の入学式に出席させていただきました。昨

年は女子が各クラス7割近くいましたが、今年は男子が頑張ったのか約5割と盛り返されており、一安心いたしました。

北高同窓会総会や懇親会では、皆が仲良く一致団結した、皆が一つの輪になつていた時代を取り戻してください。来年2020年は、2度目の東京オリンピック開催となりますが、母校北高も創立80周年の記念すべき年でもあります。まだ準備委員会もできておりませんが、会員の皆様の御支援をよろしくお願い申し上げます。

最後に母校旭川北高の益々の発展と北高同窓会の益々の発展ならびに会員皆様のご健勝をお祈り申し上げ、ご挨拶にかえさせていただきます。



学校長あいさつ

北海道旭川北高等学校長

山根 克文

令和元年度第54回北海道旭川北高等学校同窓会総会が盛大に開催されますことを、学校を代表いたしまして心よりお祝い申し上げます。同窓会の皆様方には、日頃から母校に対する愛情あふれるご支援と叱咤激励をいただき厚くお礼申し上げます。

昨年本校に赴任し今年2年目を迎えました。本校同窓生が道内外あるいは海外の様々な分野で活躍されており、また、母校に対する並々ならぬ誇りと愛着の念に接するたびに、常に身の引き締まる思いをしてきました。今後とも同窓会のお力添えをいただきながら、皆様方の後に続く人材を育成していく所存ですので、どうぞよろしくお願いたします。

今年度は4月8日の入学式で新入生254名を迎え入れ、5月末日現在の生徒在籍数は、全日制754名、定時

制47名となっています。今春卒業した生徒の進路状況は、全日制では119名が現役での国公立大学合格を果たし、京都大学は6年連続（過年度卒含）、東北大学は5年連続、旭川医科大学医学科も5年連続（過年度卒含）で合格者を輩出し、前年度同様大変素晴らしい結果となりました。部活動についても今年も加入率は90%以上に達し、5月の高体連支部大会では、テニス部が男子団体と同ダブルスで優勝、山岳部が男女アベック優勝（女子は創立以来初優勝）、ソフトボール部も2年連続の優勝を飾りました。その他、ソフトテニス、陸上、剣道、バドミントン、高文連では放送局が全道大会出場権を獲得しました。定時制では今春卒業した9名の生徒のうち、3名が自衛隊、2名が民間企業、1名が専門学校進学、3名が就業中のアルバイトを継続する

ことになりました。また、5月26日に開催された定通体連支部大会にはバドミントン部と卓球部が出場し、残念ながら全道大会出場権獲得は卓球女子個人1名にとどまりましたが、出場した生徒の最後まであきらめずに頑張った姿は大変立派でした。

結びになりますが、本校は来年創立80周年の記念の年を迎えます。これまでの伝統と歴史をしっかりと受け継ぎながら、皆様の信頼と期待に応える学校づくりを全力で推し進めてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

平成30年度会務報告

平成30年

1月27日 (土)	第2回役員会・幹事会・新年会
2月	ノースウィンド発行
2月28日 (水)	同窓会入会式(全日制・定時制)
3月1日 (木)	卒業式 役員出席
4月9日 (月)	入学式 会長出席
5月26日 (土)	役員・幹事長会議 (ポスター・チケット配付)
6月16日 (土)	会計監査 第3回役員会
7月7・8日	不参加
8月11日 (土)	第53回 同窓会総会・懇親会
10月5日 (金)	札幌同窓会総会 (役員5名派遣)
10月27日 (土)	当番期引き継ぎ会議 (42期から43期へ) サンアザレア
12月	同窓会入会案内配付

平成31年

1月26日 (土)	第2回役員会・幹事会・新年会
2月	ノースウィンド発行
2月28日 (木)	同窓会入会式(午前・全日制, 夕方・定時制) 役員出席
3月1日 (金)	卒業式 役員出席
4月8日 (月)	入学式 会長出席

令和元年

5月18日 (土)	各期幹事会 (総会P R・会券・ポスター配布) 当番期担当
6月8日 (土)	会計監査 (第3回役員会の前に実施)
	第3回役員会 (総会進行状況等)
7月6・7日	学校祭協力
8月10日 (土)	第54回同窓会総会 (当番期 北43期・サブ 北48期)
《今後の予定》	
9月～10月	総会当番期引継式 北43期(第54回) ⇒ 北44期(第55回)
同日	第1回役員会
9月7日 (土)	東京同窓会総会 (東京消防庁スクワール 麹町 14:00～16:30)
10月4日 (金)	札幌同窓会総会 (ホテル札幌ガーデンパレス 18:00～20:00)
12月	卒業生・保護者へ同窓会入会のご案内・会費納入依頼

旭川北高同窓会平成30年度一般会計決算書

収入の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 繰越金	856,898	856,898	0	
2 同窓会費	1,209,000	1,166,000	▲43,000	
①入会金	711,000	690,000	▲21,000	230名×3,000円
②終身会費	498,000	476,000	▲22,000	238名×2,000円
3 ホームページ運営管理費	225,000	205,000	▲20,000	会券売上げ410枚×500円
4 雑収入	13	8	▲5	貯金利子
合計	2,290,911	2,227,906	▲63,005	

支出の部

(単位:円)

区分	予算額	決算額	比較増減	摘要
1 総務費	955,000	795,616	▲159,384	
①事務費	20,000	10,000	▲10,000	消耗品費
②会議費	200,000	164,200	▲35,800	役員会、幹事長会等開催費
③通信費	35,000	29,840	▲5,160	切手、はがき、電話
④印刷費	20,000	10,000	▲10,000	会議開催案内状等印刷費
⑤慶弔費	30,000	0	▲30,000	香典、生花、弔電
⑥支部活動費	130,000	131,000	▲1,000	札幌支部同窓会出席旅費、活動助成金
⑦広報費	240,000	233,280	▲6,720	同窓会ホームページ年間管理・運営費
⑧卒業記念品費	220,000	195,172	▲24,828	卒業生記念品
⑨後援会事業費	30,000	0	▲30,000	学校祭協力費
⑩雑支出	30,000	22,124	▲7,876	振込手数料、雑費
2 文化費	340,000	318,920	▲21,080	ノースウィンド第26号印刷費、活動費
3 予備費	995,911	0	▲995,911	
合計	2,290,911	1,114,536	▲1,176,375	

支出決算

(単位:円)

収入額	支出額	残高
2,227,906	1,114,536	1,113,370

残額1,113,370円は次年度へ繰越

平成30年度特別会計決算書

(単位:円)

収入の部		支出の部		残金
前年度繰越金	208,514			次年度へ繰越 208,515
第53回総会準備金返還	300,000	第54回総会準備金貸付	300,000	
貯金利子	1			
合計	508,515	合計	300,000	

同窓会資産

(単位:円)

累計額	平成30年度 積立額	平成30年度 支出額	合計累計額	摘要
8,314,428	241,684	0	8,556,112	積立額 (郵便貯金利子 + 定期貯金満期利子)

同窓会記念事業基金

(単位:円)

累計額	平成30年度 積立額	平成30年度 支出額	合計累計額	摘要
2,554,591	200,023	100,864	2,653,750	実行委員会より寄付 (200,000)、郵便貯金利子 (23)、財団法人旭川北高会寄付 (100,000) /送金料 (864)

北海道旭川北高等学校 同窓会規約

●第1章 総 則

第1条 本会は、北海道旭川北高等学校同窓会と称する。

第2条 本会は、会員相互の親睦を図り、合わせて北海道旭川北高等学校の健全なる発展に寄与することをもって目的とする。

第3条 本会は、その事務局を北海道旭川市花咲町3丁目北海道旭川北高等学校に置く。

●第2章 事 業

第4条 本会は、その目的達成のため、次の事業を行う。

- (1) 会員の親睦を図ること。
- (2) 会誌及び会員名簿の発行
- (3) その他本会の目的を達成するために必要と認める事業

●第3章 会 員

第5条 本会は、次の各号に該当する者をもって構成する。

- (1) 旭川市立中学校卒業生
- (2) 旭川市立高等学校卒業生
- (3) 旭川北高等学校卒業生
- (4) (1)(2)(3)各号以外（転・退学した者）で、本会に入会を希望する者。

●第4章 顧 問

第6条 本会に顧問を置くことができる。顧問は、総会において推挙する。

第7条 顧問は、役員会の諮問に応ずるものとする。

●第5章 役 員

第8条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副 会 長 若干名
- (3) 会 計 監 査 3名
- (4) 総務部長 1名
- (5) 総務副部長 若干名
- (6) 会 計 部 長 1名
- (7) 会 計 副 部 長 若干名
- (8) 文 化 部 長 1名
- (9) 文 化 副 部 長 若干名
- (10) 幹 事 長 各期毎1名

第9条 会長、副会長は、総会において会員の中から選出する。

ただし、再選を妨げない。

2 会長は、本会を代表し、会務を統理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長事故あるときはこれを代理する。

第10条 第8条の役員のほか、各期各組から1名ずつ幹事を選出し、各期ごとに幹事長1名及び副幹事長2名を推薦し、会長はこれを委嘱する。ただし、定時制にあつては幹事長のみとすることができ。

2 幹事長は、同期を代表し、かつ統括する。

3 副幹事長は、幹事長を補佐し、幹事長に事故あるときはこれを代理する。

4 幹事は、各組の取りまとめにあたる。

第11条 会計監査は、総会において会員のなかから選出する。ただし、再選を妨げない。

2 会計監査は、本会の経理を監査する。

第12条 各役員の任期は、2年とする。ただし、任期満了後でも後任者が決定するまでは、引き続きその任にあたるものとする。

●第6章 総 会

第13条 総会は、定例総会及び臨時総会とし、議決は出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは議長これを決す。

2 定例総会の開催時期は、前年度の定例総会において決定する。

3 定例総会の運営は、各期毎の当番でこれにあたる。

4 臨時総会は、会長が必要と認めたときに、役員会の決定をもって会長がこれを招集する。

第14条 総会は、次のことを審議する。

- (1) 会務の報告
- (2) 決算の承認
- (3) 規約の改正
- (4) 役員の選出
- (5) その他必要な事項

●第7章 役員会及び幹事長会

第15条 本会の役員会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長をもって構成し、会長がこれを招集する。

2 本会の幹事長会は、会長、副会長、総務部、文化部及び会計部の部長、副部長及び幹事長をもって構成し、会長がこれを招集する。

第16条 役員会の議決は、出席者の過半数をもってし、賛否同数のときは、議長がこれを決する。

第17条 会員は、役員会に出席して意見を述べることができ。

第18条 本会には、次の部会を置き会務を分担する。

- (1) 総務部
- ア 総会及び役員会に関すること。
- イ 規約の改廃に関すること。
- ウ 本会の渉外事務に関すること。
- エ 支部の結成及び支部との連絡調整に関すること。

オ その他庶務一般に関すること。

- (2) 会計部
- ア 本会の会計に関すること。
- (3) 文化部
- ア 会誌及び会員名簿の発行に関すること。
- イ 会員の親睦を図り、文化厚生活動に関すること。

2 部会には、部長1名、副部長若干名、委員若干名を置く。

3 前項の部長、副部長及び委員は、会長がこれを委嘱する。

●第8章 会 計

第19条 本会の経費は、入会金二、〇〇〇円、終身会費三、〇〇〇円及び寄付金をもってあてる。

第20条 本会の会計年度は、毎年4月1日から始まり、翌年の3月31日をもって終わる。

●第9章 事務局

第21条 事務局は、若干名の事務員を置き、本会の事務を処理する。

2 事務局員は、会長がこれを委嘱する。

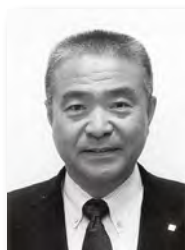
●第10章 規約の改正

第22条 本規約は、総会の承認がなければ改廃できない。

第19条	S 50.	9.	6 改正
第19条	S 53.	9.	2 改正
第19条	S 57.	8.	4 改正
第13条 2 項	S 58.	8.	13 改正
第19条	S 63.	8.	7 改正
第19条	H 2.	8.	11 改正
第4条・第8条・第10条・第11条	H 4.	8.	8 改正
第15条・第17条・第18条・第20条	H 7.	8.	12 改正
第5条 4 項	H 9.	8.	9 改正

札幌支部

札幌同窓会の新体制



札幌同窓会会長

山川 広行（北高25期）

第54回旭川北高同窓会総会・懇親会の開催おめでとうございます。

私は、今年度から札幌同窓会の会長を拝命いたしました25期の山川でございます。よろしくお願ひ申し上げます。武田前会長、風間前副会長、吉野前副会長におかれましては、長い間札幌同窓会のために、ご尽力いただきました。誠にありがとうございます。心より感謝申し上げます。新体制は、会長・山川、副会長・25期・加門清、会計監査・33期・赤坂誠司、事務局・31期・松原幹昌となりました。各期の幹事の皆さんのご協力を頂きながら、札幌同窓会の運営に努めて参りたいと思っておりますので、ご支援の程、よろしくお願ひ申し上げます。

さて、昨年10月に開催されました札幌同窓会総会・懇親会は、過去最高の243名の参加者となりました。幹事の皆さんの声かけのおかげでございます。これからも、どんどん増やして、有意義な楽しい会にしていきたいと思っております。

で、ご協力、よろしくお願ひ申し上げます。

札幌で働いて、旭川北高の卒業生に出会って、応援団を見つけたような気持ちになり、とても心強く勇気を与えてくれるものであります。ビジネスチャンスも生まれてきます。そんな経験から、より多くの同窓生の出会いを作ることが皆さんのプラスになるものと考えております。同期の繋がりは横の繋がりで、これは各期、結構強く繋がっていると思います。それに先輩・後輩の縦の繋がりをミックスする。そうすることで、幅のある強い頼れる繋がりができるものと考えております。抽象的な表現になりましたが、今以上に、そんな繋がりのある札幌同窓会にしていきたいと思っておりますので、皆さんのご協力、ご支援を、よろしくお願ひ申し上げます。

末筆になりましたが、旭川北高同窓会の益々のご発展と同窓生皆様の多幸をご祈念申し上げます。

東京支部

旭川を離れ東京で生きる



東京同窓会会長

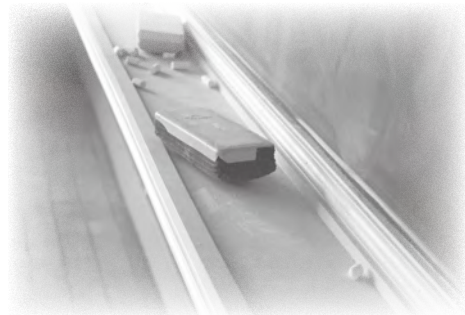
柿林 博司（北高22期）

私は1972年に北高を卒業後、札幌を経由して上京し40年になります。1979年に入社した企業の研究所に北海道出身者は少なく、北高卒業生は皆無でした。希望に燃えて就職しましたが、道産子が熾烈な環境の東京で果たして上手くやって行けるのだろうか、という不安でいっぱいでした。東京同窓会の会員は、多少の条件の違いがあっても、殆どの方々が同様な胸中であつたと思います。しかし、多くの先輩、同期や後輩の方々と東京同窓会でお会いする時、「皆、元気に生き延び、今も活躍しているなあ」と、安堵、尊敬、驚嘆など複雑な心境が込み上げてきます。そう、これが東京同窓会の魅力なんだと気付かされます。特に先輩方とお話をさせていだくと、これまでの数々の出来事や課題を、どう乗り越えてきたのか、それらの経験やご苦労が大変貴重なものであるとわかります。東京同窓会は、それらを伝え、繋げることにより、北高同窓生が東京で活躍するためのハブ（ネットワークの中心）になることが任務の一つであると思っています。

そこで、今年の9月7日（土）に開催する第19回東京同窓会@東京消防庁スクワール麹町（四ツ谷）では、テーマを「先輩後輩の縦の繋がりを活性化」としました。テーマに沿ったイベントにより縦繋がりを新開拓、拡充します。このためには若手同窓生の参加が必須ですので、20期代後半から30、40期代の新幹事を発掘し、東京同窓会の存在を若手へ周知すると共に、参加を呼び掛けています。東京近郊だけでなく、北海道や他府県など全国の北高同窓生に集まっていたら、と大変嬉しいのです。

今年度の役員体制は、顧問・18期山口哲男、会長・22期柿林博司、副会長・25期鈴木隆文、幹事長・22期佐藤学、会計部長・22期高田範昭、事務局・18期石井英郎、22期井口守、菅原茂樹、石垣千恵子、矢澤良子、23期佐藤みき、27期田隣美香、36期伊藤幸永です。ご支援をよろしくお願いいたします。また、皆様のお近くに未だ東京同窓会に参加されていない方がおられましたら、当方へご一報頂きます。重ねてよろしくお願ひいたします。

恩師の近況



Former teacher

二十七年前、そして今

渥海道子

突然、卒業生から連絡が来た。四十五歳になり、北高同窓会の幹事期だという。その同窓会のための準備に忙しいらしい。「ご苦労さん」と他人事に思っていたら、今度は原稿の依頼だ。他人事ではなくなった。

何を書くか？つらつら考えていたら、今回の幹事期の学年は北高で最初の担任だった。思い出すのは「学校祭」。一年の時の合唱「親知らず子知らず」には感動した。二年の演劇、舞台に足場を組んだのはよかったが、練習はなかなか苦労した。三年の展示、「渥海部屋」の手彫りの看板は今でも大切に持っている。こんな思い出とともに生徒の顔が浮かんできた。勉強や成績のことはともと思えない。私にとって北高は、同窓会の封筒に印刷されているフォークダンスの輪やファイヤーストームの風景と重なる。まさに「そう、これが北高。」だ。

さて、ご依頼の「近況」だが、年寄りの近況聞いてどうするの？と思いつつ、ご依頼なので、書くことにする。

私は現在六十五歳。旭川南高で退職して、一年は南高で三年間は東高で再任用教員とし

て働いた。つまり去年まで働いていた。晴れて無職となって一年あまりとなる。昨春秋、札幌に転居した。その理由は、もともと札幌の出身だということ。旭川の一軒家での雪かきや雑草取りに辟易したこと。そして長女が双子を出産することになったことなど。双子は三月に無事産まれ、娘の近くに住む私の時間のほとんどがこの双子とその上の孫の三人に奪われている。楽しくも過酷な毎日だ。それでも、残った僅かばかりの時間は自分のために！と半ば強引に使っている。まずはのんびりと骨休め。そして旅行に出かけたり、落語を聴きに行ったり、映画を観たり、飲みに行ったり。度々旭川にも出没している。夜の街で私を見かけるかも。そして、時々「北海道コンサドーレ札幌」の試合観戦、いや、応援に行く。札幌に来た甲斐があったというものだ。

今の私は「次世代を育てる手助け」という大きな責務と「自分のため」という小さな楽しみとの間を行きつ戻りつしながら毎日を過ごしている。



Former teacher

あの頃を忍ぶ

佐々木 洋子

長い昭和の時代が過ぎ平成も耳慣れた頃、今回の同窓会当番幹事さんが入学してきました。私は北高校で2度目の担任ということですが少しは余裕を持って入学式を迎えた事を思い出します。

あの当時は1学年10クラスのマンモス校で選択授業の移動の時は、廊下は生徒で一杯でした。その後、学級減になり溢れかえっていた廊下が懐かしく思い出されたものです。

特に思い出されるのは、体育館が1つの頃グラウンドが使えるようになる秋から冬は十分な運動ができず不自由なものでした。授業中一度か二度のゲームにかける真剣さは見ていて気持ちのよいものでした。

担任を受け持つて一番の思い出は学校行事です。入学してすぐ校歌コンクールから始まって多くの学年・学校行事がありました。

球技大会では6時間目の授業や帰りのH Rはそこそこに練習場所確保に奔走し、学校祭では夜遅くまで取り組んだエネルギーはどこから湧いてくるものだったのでしょうか。

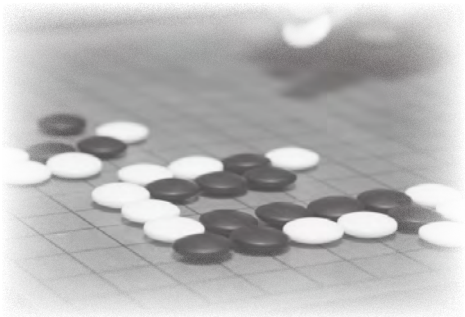
私は学校行事は大好きでした。それは、その時その時に主役が現れ、普段の学校生活で

は見ることのできない個性や能力が発見でき互いにそれを認め学校生活をさらに充実させるものだからです。一つの目標に向かって皆でなし得た充実感・達成感は机上で学ぶ学問に匹敵すると思います。学校を取り巻く環境も変化し週5日制となり授業数確保で行事が割愛されるのは淋しい限りでした。

そんな中、私が退職の最後の年に甲子園出場を果たし、夢の甲子園で応援できたのは最高の思い出です。

退職したら若い頃、縦走した奥大雪の挑戦は無理として身近な登山と籐編みをやりたいと思っていたのですが膝関節の手術等で断念し、ヨーロッパ旅行を楽しんでおりました。

今は老老介護の身、年に一度近場での旅行を楽しんでいます。



近況報告

後藤 隆 司

私は昭和五十一年北高に奉職し、平成六年退職までの十八年間お世話になりました。その間、担任を三回、学年主任を二まわり拝命し、この原稿を書くのも四回目になります。最後の担任は教科の関係から医療系の五組でした。卒業式の時には委員長五十嵐由佳さんの音頭で四十四人の孫よりと万歳三唱されたことは感無量でした。

退職後には龍谷・女子商・実業などの講師を五年ほどやりました。その後私は木が好きなので樹木医の資格を取り、シルバー人材センターを介して他の庭の手入れをしました。家には五葉松、高野槇（コウヤマキ）、犬槐（イヌエンジュ）、七竈（ナナカマド）など亭々とした高木があり、三十年以上もたつと三十センチ以上の太さとなり、持て余しています。榆の木は伐採しましたが、その後、切株にナメコが生え、毎年おいしくいただいております。木は植える時には小さいので大木になることを想定せず、見通しが甘かったと後悔しています。当番幹事諸君が平成五年に植えた北高の檜葉の木も大きく成長し、時の流れを感じています。

家が春光台公民館に近いので囲碁サークルに参加し、楽しむと共に子供たちに指導しています。子供は上達が早く、今、北高一年の子はアマ四段格となり時々負かされています。歳ばかり重ねて何か世の中に役に立てねばと思ひ、公民館活動の一環として子供の居場所実行委員となり、月二回程度、中学校に向いて学習につまずいた生徒の面倒をみております。

趣味としては、他にパークゴルフや俳句をやっております。昨春秋、当番幹事の五組のクラス会に招かれ懐かしい面々と再会しました。既に四十を超え、社会の中堅として活躍していることは頼もしい限りです。その時の一句をしたためて筆をおきます。

「長き夜や 不惑の子らと 宴盛る」





相変わらず
寒いのね。
(43期)

えっ、
これってどこ？
覚えてない…。
(43期)

北高のシブリアでやってみた

今年の旭川は例年より寒く、年明け以降も氷点下二〇度を下回る厳しい寒さが続いている。この寒さにも、校内で活動する北高生には大きな影響を与えているようだ。

のだという。日々の練習の様子について尋ねると、彼らは口をそろえて、とにかく寒い中頑張っていると答えた。

うだ。そこで我々新聞局は、生徒たちの間で「北高のシベリア」と呼ばれている一階旧体側廊下で、凍えるような寒さの中で、活動する生徒たちにインタビューし、そこが「体だけ寒いのか調査した」。

我々新聞局は「北高のシベリア」の寒さをより分かちやすく伝えるために、寒い場所で行くような重宝した。この場所で行った。一階の突縁は、水風船を磨いておくとも風船になるか

一月二日金曜日、生徒前は、北高陸上部の生徒たちが熱心にトレ・ニンギンをする姿が見られた。午後四時のこの場所の気温は、一七度であった。陸上部員によると、冬場はいつも廊下に置いた雑巾は凍り、雨漏りで濡った床まで凍る。



▲見事に凍った夕奥尔

▶水風船を割って出てきた卵のような氷



た結果、溜ったタオルは棒のように固まつた。三つ目の実験に、シャボン玉が凍るかどうかという実験をしたが、なすかして凍らないかと廊下の窓を開け、氷点下九度の中でシャボン玉を吹き続けけた結果、シャボン玉が割れずに床に着き、そこで凍ってドームのようになつた。

北高のシベリアは、屋内ではあるが、風をしのぐだけであつて、外気温と大差は無い。名実ともに極寒の地であつた。

北高探検隊が行く『開かずの扉』に迫る 潜入取材 北高最大の謎

皆さんは知っているだろうか・・・。
北高最大の謎・・・そう、開かずの扉を！！
冬休みが明けたすぐのことだった。
僕たちは以前から気になっていた
D階足の4階にある立ち入り禁止
区域に潜入取材することになった。
そこに行くには取材許可が必要だっ
たが顧問の先生に相談したところ
あっさりとおKの返事がもらえた。
そして1月29日、遂に局員の竹
村、長谷川そして顧問の修平先生
とで潜入を試みたのであった。



階段を1つ1つ上がっていき、上を覗き込むと、そこには山積みのイスがあった。僕たちは、拍子抜けしてしまった。どうやらここは、余った生徒のイスや机を保管する場所らしい。

僕たちは気を取り直し、イスの近くまで進んでみたのだが、奥が見えないほど高くまで積んであり進むことが出来なかった。何か他にはないのかと探しているとき、奥が吹き流れてくる音がしていることに気づいた。その音が聞こえてくる場所をそっと覗き込んでみると、そこには屋上へ繋がった扉が隠されていたのだ。

僕たちはドアを開けようとしてみたが、が、まったく動く気配がない。雪が積もって扉が動かないんだと思うのに開けようとして詰めているが、どうもおかしい。改めてドアノブに目をやると、しっかりと鍵がかかっていることに気づいた。僕たちはがっかりしたが、改めて考えると当たり前のことだった。安易に屋上に出るのは安全ではない。僕たちは肩を落としながら、その後写真を撮り終え潜り取材は終了した。

今回の取材で扉の中は知ることができたが、まだなぜ開かずの扉が立ち入り禁止になってしまったのかは謎のまま。これからも北高探検隊は校内の謎に迫っていく。

(文責：長谷川)

(文責: 長谷川)

私たちは
「こがねちゃん弁当」
だった。
ハムカツ弁当、
コロカラ弁当…。
懐かしい (43期)

「1年生は知っているかな」
ベントスのお母さんは

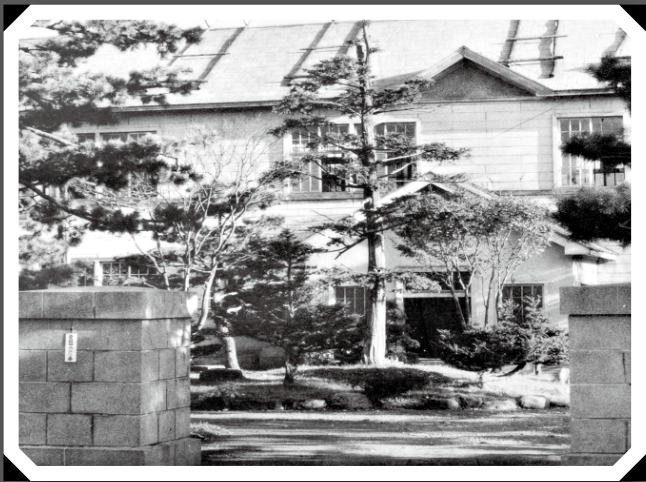
毎日お昼休みになると北高生はベントスのお弁当を買おうと列を作る。ベントスのお弁当は北高生には欠かせないものなのだ。そこで今回は新入生の皆さんにベントスのお弁当の買い方について説明したい。まずお弁当の予約をしなければならないのだが、そのためには1階の中央階段を降りてすぐ目の前にベントス予約専用のポストにある予約用紙にメニューを見ながら必要事項を記入し、11時までに投函する。これ



で予約は完了する。お弁当の受け取り方法は昼休みになったらすぐに予約した場所で現金と引き換える。ごみの処理については教室のごみ箱には捨てず、容器を必ずポストの下にある専用のごみ箱に捨てること。これで



皆さんもらくらくに予約して
おいしくベントスの弁当を食
べよう。



多様な価値観、 一つの想い

東京エレクトロン(TEL)
テクノロジーセンターアメリカ
プロジェクトマネージャー

す み
鷺見 美由紀 第43期



■プロフィール

1993年 旭川北高等学校英語科卒業
1997年 北星学園大学英文科卒業
1998年 JICA海外協力隊日本語教師としてマレーシアに赴任
2000年 JICA北海道国際センターにて国内事業補助
2002年 旭川市国際交流委員会 JICAデスク担当
2005年 JICAボランティア調整員としてガーナに赴任
2009年 渡米
2010年 TELテクノロジーセンターアメリカにて勤務開始
2018年 ニューヨーク州立大学経営大学院修了
2019年 現職

私の経歴は、一見無節操に見えるかもしれない。海外ボランティアとしてマレーシアで日本語を指導。その後は北海道に戻り、国際理解教育の普及に従事した。かと思えば、西アフリカはガーナにて海外ボランティアの現地支援。さらに渡米し、地元の食堂で調理補助も。現在は日系半導体装置メーカーにて、オフィス運営・経営をサポートしている。

異なる環境に身を置く度に、新たな価値観を見つけていくことを学んだ。周りと違った方がいい、生き方は人それぞれでいい。そう気づいてから自身の可能性を信じるようになった。

そこに行きつくことができたのは、様々な国で生活し、様々な業種の仕事をしたからこそ。全ての経験が現在役立っている。

海外に出たいと思ったきっかけは、田畑に囲まれ漫画ばかり読んで過ごした幼少期にある。ストーリーの舞台となる外国に漠然とあこがれ、外国人との交流を夢見た。「英語が話せるといいな」と、高校進学の際で自然と出てきた選択肢が北高の英語科だった。大学も英文科。しかし好きはならず、得意なはずの英語なのに、就職活動が始める時期になっても「英語で会話できない」自分がいた。海外に出るどころか、英語を使った仕事すら無理だ。今さら努力する時間もないし「国際的な」お仕事はあきらめよう。でも英語を勉強してきた思い出として、海外旅行ぐらい行ってみるか。そこで訪れたイギリスを契機に海外生活を本気で考え、就職活動を辞めて日本語教師になる専門学校に入学した。

卒業後、JICA海外協力隊(当時、青年海外協力隊)としてマレーシアで日本語を教える機会を得



- 1 マレーシアの中高等学校で日本語を指導
- 2 旭川を拠点に国際理解教育の普及に携わった。
ネパール文化体験イベントで伝統楽器に挑戦する参加者
- 3 ガーナで活動するJICAボランティアの活動をサポート。
ボランティアが披露する紙芝居に聞き入る子供たち
- 4 ガーナ北部独特の土の家。通称マッシュルームハウス
- 5 ガーナ国内移動中に赤土の道路を歩いてみた

た。海外生活が叶う喜びを胸に向かったマレーシア。なのに、価値観の違いにコテンパンにされた。たとえば、物事を先延ばしにされることが多い。熱帯で年中気候が安定しているせいだろうか、今日やれることは明日やっても同じ、という感覚があるようだった。スケジュール順守はあたりまえとして育った私には、時間的観念にリズム（に当時は思えた）な現地の同僚達の行動が理解できず、対立したこともしばしば。「日本の常識、世界の非常識」と頭ではわかっているものの、日本の常識のほが優れているはず、という思い込みを拭い去ることができないまま2年の任期は終わってしまった。

帰国後、マレーシアで異文化に対応しきれなかった自分にもやもやしながら過ごしていた。そこで出会ったのが、教育活動。当時北海道はまだ外国からの観光客も、日常的に外国人と触れあう機会も少なかった。しかし教育を通じ、異なる価値観に触れたり、疑似体験することはできる。違いを知っているだけで防げる摩擦は多くあ



- 6** アメリカに来て本業との二足のわらじで送った学生生活。クラスメートからの支えも大きかった
- 7** 職場で国際ビジネスに興味のある高校生インターンの受け入れを担当
- 8** 企業の社会貢献（CSR）活動。アースデーにちなんだ敷地内に桜の木を植樹
- 9** Kids at Work Dayの企画・運営をサポート。熱心に顕微鏡をのぞき込む同僚の子供たち
- 10** Kids at Work Dayでは参加した子供たちの名前を日本語表記にしたしおりを配布



るし、国内外で外国人と触れ合う際に起こりがちな不和を減らしたい。現地での経験と反省が活かせると思った。JICA北海道国際センター、旭川市国際交流課、旭川市国際交流委員会の多大なる協力を得て、異文化理解プログラムを企画、運営。世界各国から来訪するJICA研修員の学校訪問をアレンジするほか、私自身が講師として体験を話したり、異文化体験ワークショップを開催したり。それらを通じ、参加いただいた方々の海外への理解を深める手助けができる、というやりがいを感じ

ていた。

しかしその活動にも、いつしか限界を感じるようになる。「世界の貧困地域の人たちはどういう生活を送っているのですか」など、たった2年のマレーシア赴任（しかも貧困国ではない）体験だけで答えるには難しい質問を受けることが増えたのだ。再度現場に出たほうがいいのでは、という思いから「貧困地域への赴任を希望」と添えた履歴書をJICAに提出。ボランティア活動の後方支援を行う調整員として、西アフリカのガーナに派遣となった。3年間で延べ200名以上の日本人ボランティアをサポート。電気も水もない村も含め、ガーナ全土を周った。とある地域では、雨季になると洪水で家が壊れるのに、土の家が多かった。「家が壊れても、土の家ならすぐ安価に作り直せる。壊れたらまた建てればいい」その環境だからこそ知恵と、強いメンタリティを学んだ。

ガーナから戻り、渡米して結婚。海外生活も三か国目となり、ましてや初の先進国とあれば、なんの



心配もないはずだった。しかし、一向に仕事が見つからない。知り合いもおらず、当然コネもなし。面接にすらたどり着けず、くさっていた頃にふと目に入ったローカル食堂の求人。「朝食・昼食の調理補助。時給10ドル」この際、職種も給料も選んではいけないと、オムレツをひっくり返したり、寸胴鍋でスープを作ったり。そのうち、地元にある数少ない日系企業から「受付兼庶務を担当する派遣職員を募集している」と声がかかった。半導体業界大手、東京エレクトロン（TEL）。初の民間企業でのキャリアが始まった。

理系の修士号、博士号を持った職員が多くいる技術開発研究所で、文系の私がキャリアアップできるなど当初は夢にも思っていなかった。離婚を機に正社員になったものの、経済的な自立にはまだ不安が。アメリカでは仕事に就いてから再度学業に戻る人も多い。仕事をしながら少しずつ単位を取り、学位の習得を目指している方々の姿に刺激された。私も進学しようか。でもついていけるだろうか。最後までやりきれぬだろうか。しばらく迷った結果、やるしかない、と決断。ビジネスの世界で信頼性の高い経営学修士号（MBA）の取得を目指し、2年で修了できる週末のプログラムを開始。本業との二足のわらじで、ほぼ20年ぶりの学生生活を送った。学業面での努力と仕事での成果が認められ、受付兼庶務担当から役員秘書、そしてプロジェクトマネージャーに昇格。現在は、法務、知的財産、広報、企業の社会貢献（CSR）など、経営を側面からサポートしている。移民であっても、マイノリティであっても、年齢がいくつであっても、機会は平等にある。そんなアメリカの価値観に力をもった。

振り返ると様々に見える経歴だが、一つ共通しているものが、実はある。それはグローバル社会に向けた人材の育成に携わりたい、という想いである。日本語を教えたのも、異文化理解教育の普及に努めたのも、日本人ボランティアを現場で応援したのも、現在CSR関連の事業を担当しているのも、これらの活動に関わった人たちに、世界的視野を持って活躍してもらいたいからである。

現職のCSR活動を通して地域や世界に貢献できる方法を探る、というのが現時点での目標だが、先のことはわからない。国際協力の現場に戻るかもしれないし、帰国して国内人材育成に関わるかもしれない。たとえまた新たな環境にチャレンジしたとしても、同じ想いを持ち続けて行けば、いつか成果につながると信じている。

かつてマレーシアで指導した生徒たちの成長や活躍をSNSで楽しく眺めながら、私自身一人のグローバル市民として、持続的な社会づくりに関わっていくことを目指し、これからも前に進み続けたい。



夢を現実へ～ 諦めない情熱

United Airlines CA
(キャビンアテンダント)

相蘇 義章 第43期

■プロフィール

1993年 旭川北高等学校英語科卒業
1997年 近畿大学経済学部卒業
1999年 米国カリフォルニア州サウスウエスタンカレッジ卒業
PleasantHolidays/Singapore Airlines Vacation 勤務
2010年 ExpressJet Airlines 勤務
2011年 United Airlines 勤務
～現在

北高時代はアーチェリー部に所属。顧問の先生のおかげで部活動を通して、とても良い友達に恵まれ26年以上経った今でも仲良くしている友達の絆にはとても感動しています。

大学を卒業して、自分に自信がなかった僕はアメリカ留学を決意。その頃日本では学べなかった旅行学を2年勉強するために渡米しました。海外での生活、新しい土地での一人暮らし、初めてばかりの生活に最初は大変苦労した思い出がありますが、海外生活は自分にとって夢の夢。憧れていた生活の中で、いずれはアメリカで働きたいという思いが強くなっていました。

カレッジを卒業後、会社には恵まれ10年ほど予約代理店でトラベルプランナーとして働きましたが、飛行機好きが原動力となり航空会社に転職を35歳で決意。現在は国際線を主に客室乗務員として働いています。

航空会社に入社してからは、本当に色々な人と出会いました。アメリカといえど人種のるつぽと言

われますが、まさにその言葉が実感させられる職場です。日本人の当たり前が通じない職場。日本ではチームワークを尊重されますが、アメリカでは個人の意見が評価されます。そのお陰で自分自身の視野が広がったように思います。その中で、日本人としての良さを他の人に伝えられるように日々仕事をしています。

米国系の航空会社では、仕事はサービス業というよりは安全運航に携わることを主にしています。救急患者の応対、緊急時脱出などの訓練は毎年行われていて、試験を合格する必要があります。様々な事故の歴史を経て安全を第一とする方針です。(と言いましても、所詮機械―飛行機は壊れる物。緊急着陸は何度か経験があります…)

“Choose a job you love, and you will never have to work a day in your life.” (あなたが愛する仕事を選びなさい、そうすればあなたの人生の中で働かなくてはいらない必要は決してないだろう) という言葉がありますが、まさにその通りで、僕は毎日働いて



- 1 5週間の訓練のクラスメートと一緒に
- 2 ボーイング787型機のエンジン
- 3 イスラエル、エルサレムにて
- 4 北京便のレイオーバーで天安門広場
- 5 よく乗務するボーイング787型機の操縦席
- 6 ベルギーで巨大ワッフル

笑
 今後は日本線、特にサンフランシスコ国際空港—大阪関西国際空港間を中心にオーストラリア、ニュージーランド、ヨーロッパ、アジア路線をベースのサンフランシスコから乗務しています。もし機上で見かけましたら気軽に声をおかけください。

今でこそ人気職業ランキングに

顔を出すようになった理学療法士。受験当時は担任も進路指導の先生も何をする仕事なのかわからなかったこの職に就いて三十年以上が経つ。そもそも第一志望でもなく、いわゆる不本意入学から現在に至るまで、いろいろな転機や出会いがあり、何か運命的なものに導かれていくようにも思える。

最初の転機は千葉の病院で働き始めて三年が過ぎたころ。仕事にやりがいを感じられなくなり、医学部への再受験を相談しに担任のもとを訪れた時に、「自分も大学院に行つて研究者の道へ進むか教師を続けるか迷った時期があった。後悔のないように。」と声をかけていただいた。結果的に希望の大学への進学は叶わなかったが、この時の会話の「大学院」「研究」のキーワードが頭に残り、その後の道へ導かれていく。

しかたなく？理学療法士として生きていくことを決心し、大学院へと進学するのだが、ちよつとした手違いで希望とは違う研究室に

入ることになってしまった。この時の指導教授がかなりの曲者で、振り回されっぱなしだったのだが、気が付けば研究者としての基礎が身につけていた。飲み会の度に言われ続けた「お前は俺のところ(教授職)まで来なきゃいけない」の口癖。早逝されてしまったので、直接伝えることはできなかったが、さつと「俺のおかげだぞ」とあの世で笑っていることだろう。

その後、医学部の博士課程へ進み、思い描いた夢とは異なるが、念願の？医学部進学を果たす。当然大学院を出ても医師免許をとれるわけではないので、「医学博士号をもった理学療法士」ではあるが、北海道医療大学で教授職を得て、医学教育、研究を生業とさせていた。なんであいつが大学で教えてるの？」同級生からはそんな声が聞こえてきそうだが、多くの出会いが自分を導いてくれたように、今度は自分がどれかの人生を導けるように頑張っていきたい。

なんで、私が医療大に!?

北海道医療大学
リハビリテーション科学部
理学療法学科教授

吉田 晋 第35期

■プロフィール

1985年 旭川北高等学校普通科卒業
2007年 千葉大学大学院修了(医学博士)
2009年 千葉県立保健医療大学 准教授
2012年 北海道医療大学 教授
運動制御や脳の可塑性、中枢神経疾患のリハビリテーションについての研究に従事



旭川圏域の観光振興について

スキーホリデーで
冬季滞在型観光を振興する会
事務局長

星 宏聡 第35期

プロフィール

- 1985年 旭川北高等学校普通科卒業
仙台大学中退
*大学在学中より長野県でスキーインストラクター
- 1991年 アルファリゾート・トマム入社
*主にスキー場やゴルフ場、プールを含むアクティビティ全般を担当
- 2015年 星野リゾート・トマム退職
(株)ダンケジャパン入社

平成27年に旭川のスキー場へ転職してすぐに、有志で冬季の滞在型観光を振興する「スキホリデー」で冬季滞在型観光を振興する

会「略して「スキホの会」を立ち上げるので参加しないかと誘われ、現在は他のメンバーより時間に余裕があることを理由に事務局長を

とになりますが、息の長い観光地の共通点に観光資源を地域の人が楽しんだり、愛していることがあげられます。例えば祇園祭やねぶ

任されています。（もちろん正業はスキー場勤務です）
「スキホの会」は旭川を含む圏域の冬季観光振興に関する活動を行い、スノーリゾー ト地形形成に寄与することを会の目的としています。
そもそも旭川市には目立った輸出・移出産業がないので、他地域からの観光客によって得られる収益は、人口減の一途をたどる圏域の経済にとって大変重要なのです。
会の活動内容をいくつか紹介させて貰うと、訪旭外国人の意識調査や動向調査、スキー場においての外国人イン タビュー調査、観光カリスマを招いてのセミナー、元米国スキーオリンピックとのイベント開催、会員企業同士のビジネス マッチング、などを実施しており、徐々に成果も上がり始 めています。
さて、話は圏域の観光のこ

たなどの祭りや信仰を発端とする神社参拝などがそうですね。残念ながら旭川市に地域の人が楽しんでいる魅力的な観光資源は多くなく、旭川市単独での観光地化は難しいと感じます。しかし、道北・オホーツクに目を向けると流水や最北の地、天塩川など私たちも楽しい魅力的な観光資源が多数あります。

今後、広域の観光圏をつくって いけば、宿泊施設や飲食店や病院をもつ旭川市は観光ベースやゲートシティとして重要な役目を果たせるはずで。その時を目指し、Think Globally, Act Locallyの地道に活動をしていきたいと思っ ています。

旭川・ニセコ・好きなスキー場別評価



第54回旭川北高同窓会が開催され

ますことを心からお祝い申し上げます。また、これまで同窓会開催に向けて準備を進めてこられた実行委員の皆様には厚くお礼申し上げます。そして、日頃より同窓会の運営にご尽力されております関係者の皆様にも感謝を申し上げます。

私ども北高20期は今年度卒業50周年を迎えるため、招待期として出席させていただくこととなりました。通常は同窓会とは別の日に同期会を開催してきましたが、今回は同窓会と同じ日にすることとしました。

北高20期は平成3年のサブ当番期の年に同期会を立ち上げ、名称を20期にちなんで、そしていつまでも若々しく元気でありたいという思いも込めて「旭川北高はたち会」（通称「はたち会」）としました。会長は4組の瀬川明男君で、当番期となる5年後の同窓会を成功させることが当初の目

旭川北高はたち会

北海道旭川北高等学校同窓会20期幹事長

林 仁彦



的でした。

おかげさまで、平成8年の第31回同窓会（実行委員長は9組の中井隆永君）は多数の方々に出席していただき、盛況のうちに終わることができました。総会・懇親会が終了した後は、140人もの同期が集まり第6回目の「はたち会」を盛大に開催し、久しぶりの再会を喜び合い懇親を深めることができました。

その後も毎年「はたち会」を開催していましたが、平成15年からは2年に1度の開催となり、記念すべき今年の「はたち会」は奇しくも第20回目を迎えることとなりました。「はたち会」がはたちを迎えることとなったわけです。私どもの期はどうやら「20」という数字に縁があるようです。

これまで「はたち会」を続けてこられたのは、やはり瀬川会長はじめ核となる人たちが頑張ってきたからにはかなりません。「はたち会」開催前には実行委員会を数回開催し、日時・会場のほかゲームの企画などを話し合い、準備を進めてきました。特に事務局の畑有二君（5組）、松下勝

幸君（7組）には名簿整備、開催案内、出欠確認、ホームページの管理等々を担っていただき、会には欠かせない存在となっています。

「はたち会」もいつまで続けられるのかなと思う年齢になりましたが、一人でも多くの仲間が元気な姿で再会し懇親を深める場として長く続いて欲しいと願っています。



The Soul Expression

ザ ソウル エクスプレッション



～悲しみを癒し、生きる希望が湧いてくるGOSPELをあなたへ～

ゴスペルの愛と、チャレンジする勇気をお届けするゴスペルクワイヤー

The Soul Expression

代表 岡崎 朱美（第34期）

プロのシンガーも輩出している、

地元旭川で活躍中の実力派アマチュアグループ。

主に病院や介護施設、学校でのコンサート、

地域活性のためのイベントにおいて精力的に演奏活動を行っている。

本格的なブラックゴスペルからミュージカル曲、

日本語曲までレパートリーは多岐にわたる。

結成15年、総勢35名のチームから、

第54回旭川北高等学校同窓会当日はピックアップメンバーが出演。

毎年、定期コンサートを開催しており、

2019年は12月1日（日）旭川市公会堂にてコンサートを開催。



●チケットのお問い合わせは、左記ホームページまでどうぞ。

進路指導部 (全日制) 高井 隆行

【国公立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H26	H27	H28	H29	H30
北海道大	17	3	7	11	6
北海道教育大	30	26	30	21	27
室蘭工業大	7	11	6	14	8
北見工業大	4	4	1	5	2
小樽商科大	5	4	6	4	10
帯広畜産大	1	1	3	1	4
旭川医科大	5	4	10	7	9
弘前大	8	8	8	6	5
岩手大	6	6	1	4	4
東北大	1	2	1	1	1
秋田大		1	1	1	
山形大	6	3	1	6	2
茨城大		2	2	1	
筑波大		1	1		
宇都宮大		1	2	2	
埼玉大	2		2	2	1
千葉大			1	1	
群馬大		1			
東京藝術大					1
東京外語大	1				
東京農工大	1			2	
横浜国立大		2		2	
新潟大	7	4	7	3	3
富山大	1			2	3
岐阜大		1			
金沢大	3	3	2	1	4
信州大	3	2	2	2	1
静岡大	3	1	3	1	7
名古屋大	1	1		1	
京都大	1	1	1	1	1
大阪大			1		
神戸大		2	1		
広島大	1				
長崎大		1	1		1
琉球大		1			
札幌医科大学		3	3	1	3
札幌市立大	1	2	6	3	2
公立はこだて未来大	2	1	1		2
釧路公立大	2	2	2	6	2
名寄市立大	5	3	7	6	
千歳科学技術大(R1~)					15
高崎経済大	2			1	2
千葉県立保健医療大		1			
首都大東京		1	2	2	2
横浜市立大	2			1	
都留文科大学					1
新潟県立大	1		1	1	
愛知県立大			1	1	
その他	12	1	7	8	5
国公立大計	141	109	131	132	134

※旭医大医学科 H23(1)、H24(3)、H26(2)、H27(1)、H28(2)、H29(1)、H30(1)

※札幌医科大学 H27(1)、H28(1)

【私立大学合格者数】(現役+過年度)

大学名	H26	H27	H28	H29	H30
藤女子大	5	12	6	14	10
北星学園大	12	15	15	15	14
北海学園大	44	29	30	38	30
天使大	3	5	4	2	6
北海道科学大	21	24	8	37	32
酪農学園大	4	4	6	4	3
北海道医療大	15	13	12	9	20
日赤北海道看護大	5	6	6		2
北海道文教大	6	11	7	4	3
獨協大		1	2	7	1
青山学院大	5	4	2	3	3
学習院大		1	1	1	1
慶應義塾大					2
東京女子大	1	1			
駒澤大	1	3			1
上智大			1		
専修大		1	4	5	3
創価大	1	2	2	4	
中央大	8	5	14	6	7
津田塾大			2		1
東海大	3	3	1	5	6
東京農業大	2	7	3	1	3
東京理科大	3	3	2	4	2
東洋大	5	3	7	5	2
日本大	5	2	2	5	1
法政大	9	9	8	11	8
明治大	7	6	3	2	1
明治学院大	3	2	1	4	
立教大	3	6	1	2	2
早稲田大	1	3	1	2	1
神奈川大	2	3	2	2	2
京都市外大		1	1		
同志社大	1	1	5	1	2
立命館大	6	1	2	2	2
関西大	1				1
近畿大		1	2	3	1
関西学院大	2	3		1	2
その他	81	80	75	84	54
私立大合計	249	253	234	283	229

【公務員・民間就職 合格者数】(現役)

種類	H26	H27	H28	H29	H30
国家公務員	1	2	1		2
道職職員		2	1	2	
市町村職員		4	1	1	
他の公務員	1	1	1	4	2
民間就職			1		

本校は単位制導入以来、進学先をどんどん広げ、近年では道内はもちろん、約半数が北海道を離れ、関東圏にとどまらず、九州、沖縄まで進学しています。それは高校在学中に自分がどの分野に興味関心があるのかをしつかり考え、自分が学びたいことを学べる場所を求めた結果と言えます。

単位制の進路指導では、一年次より、将来を見据えて、大学で何を学びたいのかを具体的に考えさせることから始まります。また、道内外の大学による説明会や出張講義などの実施、またオープンキャンパス等への積極的な参加の奨励などが特徴としてあげられます。また、若手の同窓生が中心となり、自分の職業について生徒に語る「先輩図鑑」という企画も昨年度で8回を数え、参加した後輩達に大変好評です。このように早期より本物に触れさせることによって、自分が将来、どのような職業を目指し、そのためにどの大学を目指すのかという目標を、できるだけ明確に持てるように進めています。

近年は「入れる大学」から「入りたい大学」を選びをする者が増えてきました。今年度も早期から対策を進め、難関である京都大、東北大、旭川医科大学医学部医学科を目指し、現役で合格しました。また、獣医になる強い想いを持って浪人し、岩手大と帯広畜産大学の獣医学部に各1名合格しました。

今年の二年次から、新たに「大学入学共通テスト」が導入されることが発表されております。ここ数年、大学入試センター試験では一部で対話形式の問題が増えるなど、新傾向を感じさせる出題が見られてはいるものの、今年度は大きな変化はありませんでした。北海道大学は相変わらず道外人気が高く、道内出身者の合格者は前期日程でもわずかに36・2%でした。その影響を本校も受けており、今春は現役5名、過卒1名、合計6名と、厳しい結果となりました。早期からの対策が必要で、本校の最終的な大学入試の結果は、国公立大学の現役合格が前年比6名増の119

名となり、この十年間で2番目に多い年となりました。推薦AO入試での合格者は例年並みでしたが、一般受験において簡単に妥協して進路変更したり、受験科目を絞ったりせずに、最後まで粘り強く受験勉強に取り組んだ結果と言えます。

私立大学でも、首都圏の早稲田大や慶應義塾大を初めとする難関私立大だけでなく、国際基督教大など自分が求める学びがある大学や、自分が挑戦したい研究により高度に取り組める環境のある大学などを積極的に調べ、自分に合った私立大学に進学する者も増加しています。

以下には過去数年間の主な進路実績を示します。単位制になり国公立大学への進学者を増やしてきましたが、進路学習を進める上で、特徴的なカリキュラムを持つ、私立大学への志願者も出てくるようになりました。今後もきめ細かい進路指導を推進し、生徒個々の生き方を大事にした進路選択を支援していきたいと考えています。

難関国立大、医学科合格者数 (現役)

大学名	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
北大(文系)	2	3	3	2	1		1	2
北大(医理系)	12	3	7	11	1	5	6	3
札幌医科大学(医)						1		
旭医科大学(医)		3			1	2		1
東北大	3		2		1	1	1	1
筑波大	1			1			1	
東京工業大			2					
東京外国語大	1			1				
名古屋大	1						1	
京都大			1	1	1			1
大阪大	1					1		
神戸大		1			2	1		
計	21	10	15	16	7	11	10	8

平成30年度 進路別人数 卒業生の進路

区 分			合 計			前年
卒業 者 数			男	女	計	237
進 学 希 望 者 数			105	125	230	232
進 学 者 数			87	114	201	211
進 学 先	大 学	国公立	31	38	69	65
		道内	20	14	34	44
		道外	18	31	49	44
		私立	17	16	33	44
	短 大	国公立	0	0	0	0
		道内	0	0	0	0
		道外	0	1	1	3
		私立	0	0	0	1
	大 学 校 等	道内	0	0	0	0
		道外	0	9	9	7
専 門 学 校	看 護	道内	0	1	1	0
		道外	0	4	4	1
	その他	道内	1	1	2	2
		道外				
就 職	公 務 員		2	2	4	5
	民 間 職 員		0	0	0	0
自 営 家 事 手 伝			0	0	0	0
そ の 他 (未 定 を 含 む)			16	8	24	21

国公立大学現役合格者数及び1クラスあたりの平均合格者数

卒業年度	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
学 級 数	6	6	6	6	6	6	6	6
合 格 者 数	106	104	91	120	97	107	113	119
人 / クラス	17.7	17.3	15.2	20	16.2	17.8	18.8	19.8

2019 部活動 報告

平成30年4月から令和元年5月末日までの
成績（大会の結果等）を中心とした部活
動の紹介及び近況報告です。

●野球部

野球部は、3年生13名、2年生3名、1年生12名、マネージャー4名の計32名で活動しています。

昨秋の秋季大会は、初戦の旭川明成高校に0対1で敗れました。チャンスの場面で積極的な攻撃することができず、打撃面で大きな課題が残る試合となりました。

冬季練習では、課題克服のために1日最低500スイング以上、徹底してバットを振り込み、打撃を重視したチーム全体のレアルアップを目標としてきました。また、実践的なメニューを増やすなど練習内容に工夫を施しました。しかし、そんな中でも一人一人の自覚のなさからチームがまとまらないこともありました。選手全員で話し合い、定期的にミーティングを行い、考えや方向性を統一することでもう一度気を引き締めなおし、春や夏に向けて準備してきました。

そして迎えた春季大会で、自分たちの磨いてきたものを発揮し、最低限の目標である選手権大会のシード権を獲得したものの、まだまだ未熟な部分があるため、勝つことができるチームではありません。

最後の夏の大会に向け、チームの目標である「全道大会への出場、そして甲子園での勝利」を達成できるように頑張ります。また、たくさんの方の支えがあり、グランド

でプレーすることができているので、感謝の気持ちを忘れずに、チーム全員が貪欲に練習に精進し、皆さんの期待に応えられるような結果を残します。

●ソフトテニス部

今年度は3年生11名、2年生3名、1年生5名の女子計19名で活動しています。昨年度は国体地区予選においても小林も・小林杏実ペアが優勝、その後の大会についても旭川地区内で上位の成績を収め、全道大会へも進出し、多くの経験を積むことができました。

そして今年度の5月に行われた高体連地区大会。旭川商業、羽幌、留萌と争った予選リーグにおいて見事1位通過を果たし、決勝トーナメントに進出しました。1回戦の旭川西に勝利し、旭川明成と対戦しましたが、惜敗し3位決定戦へ。全道大会出場をかけて旭川東と対戦し、互角以上の勝負を繰り広げたものの、力及ばずに敗れ、目標としていた団体での全道大会進出は果たすことができませんでした。一方、個人戦では佐藤・多田ペアと小林も・小林杏実ペアがともにベスト8に進出し、見事全道大会への出場権を得ることができました。

去る6月、帯広にて行われた全道大会では佐藤・多田ペアは惜しくも1回戦敗退、小林も・小林杏実ペアは順調に勝ち進み、3回戦でとわの森三愛高校（最終結果ベスト4）の選手を相手に2セットを奪う見事な勝負を演じました。

11名の3年生が高体連を最後に引退し、部員は半数以下となりました。今後は川崎帆乃花部長のもと、部員8人で力を合わせて練習に励んでいきますので、今後とも北高ソフトテニス部への応援、ご支援をよろしくお願いします。

●男子硬式テニス部

今年度の男子テニス部は、3年生8名、2年生10名、1年2名の計20名で活動しています。昨年度、新人戦は団体・ダブルス・

シングルスと全て優勝するという快挙を成し遂げましたが、全道大会が見学旅行の日程と重なっており、残念ながら辞退するということになってしまいました。

そして、高体連。今年度はついに団体戦で優勝、3年連続全道出場をはたすことができました。個人戦もダブルスで1ペア（原田・澤渡1位）、シングルスは1名（澤渡2位）が個人戦でも全道出場を果たしました。なかでも澤渡は、3種目全てで全道出場をはたし、2冠を達成しました。全道大会では、昨年度の雪辱を果たせるよう1つでも多く勝ち上がりたと思っています。残り少ない期間を集中して準備し、結果につなげていきたいと思っています。

その後新体制となりますが、1・2年生の12名で、先輩方を越えるよう熱心に練習しています。テニスを通して自分と向き合うことで、積み重ねることの大切さや、周囲の支えを感じながら、部員一丸となってテニスに打ち込ませていきたいと思っています。

●女子硬式テニス部

今年度は5月に行われた高体連旭川支部予選に、2年生主体で望みました。しかし、他校の3年生の壁は厚く団体戦は第3位、個人戦ダブルス、個人戦シングルスともに全道大会出場権を獲得できませんでした。

今後は新チームに移行となり、現2年生5人に新入部員4人を迎えての活動となります。新入部員は初心者ではありますが、4人とも上達が見込め、今後が楽しみです。2年生も上位進出のための実力は充分あります。新チームでの秋季大会が楽しみなチームであり、上位進出に向け頑張らせていたいと思っています。

●男子バレーボール部

今年は選手とマネージャーあわせて10人でスタートしました。選手が7人とかかなり少ない状況でした。大会に対する不安がなかったとは言えません。しかし、自分たちはその少なさを活かした「効率の良い練習」

をしてきました。その練習の甲斐あって、最初の大会ではライバル校との激闘の末、粘りのバレーで勝利することができました。次の選手権大会地区予選では準優勝となり、全道大会出場を果たし、全道ベスト16になることができました。このように最高の滑り出しとなりました。

しかし、その後の大会では、ライバル校に敗戦し、思うような結果が出せない時期が続きました。そこで自分たちは「失敗から学ぶ」ことを考え、細かく分析し、次に繋がる練習をするためにミーティングに力を入れました。そして練習では精一杯頑張りました。目標「全道大会出場」を目指し、声を出し、ミスしても励まし合い、前向きに精進してきました。

そして今年の春、新一年生がどれくらい来てくれるのか期待していたところ、嬉しいことに選手とマネージャーあわせて13人も入部してくれました。一年生の応援は、コートに立つ選手の背中を強く押してくれるものでした。そして迎えた三年生最後の大会・高体連支部予選。実力が拮抗する相手との試合は接戦の末、勝利することができました。結果は3位。「全道大会出場」という目標は達成できませんでした。最後まで応援してくれた両親、顧問、友達、本当にありがとうございました。



【大会結果】

旭川支部春季大会

一回戦	旭川北	2-0	旭川永嶺
二回戦	旭川北	2-1	富良野
準決勝	旭川北	0-2	旭川実業
三位決定戦	旭川北	2-1	旭川東

※第3位(第三シード獲得)

◇高体連旭川支部予選会
予選グループ戦

旭川北	0-2	旭川西
旭川北	2-0	旭川高専
決勝トーナメント戦	旭川北	2-0 富良野
決勝リーグ	旭川北	0-2 旭川実業
	旭川北	0-2 旭川工業
	旭川北	2-1 旭川東

※第3位

●女子バレーボール部

今年度は、3年生9名、2年生9名、1年生8名の合計26名で活動が始まりました。前チームは1月に行われた新人戦と5月の高体連の旭川予選でベスト4に残り、全道大会までもう一步という大きな収穫ある1年でした。新チームは昨年度のレギュラーメンバーが2人残ったものの戦力的にはかなりダウンした状態でスタートとなりました。選手権予選および冬季大会でシードを明け渡す結果となつてしまいました。しかし合宿等を通じ、確実にチーム力をつけてゆきました。今年の10連休では、前半は北見遠征、後半は深川合宿を実施し、力のあるチームと数多くの練習試合を経験し、高体連への準備をしっかりと向かいま

した。予選ブロックの鷹栖戦は危なげなく勝利する事ができ、決勝トーナメントに進出する事ができました。初戦から旭川商業高校との戦いになりました。1セット目中心盤から固さが目立ち、自分達のミスから失点を許しましたが、終盤からようやく自分達のペースを取り戻し、19点まで追い上げました。続く2セット目は最初から大接戦

でしたが、一步及ばず、結局23-25で敗北しました。敗れたものの、旭商と最後まで粘り強く戦えたこと、最高のゲーム展開をする事ができました事は大きな自信になりました。新チームは今回の経験を糧により高い目標を掲げがんばっていきます。

◇新人大会旭川地区予選
(平成31年1月12日)

一回戦	旭川北	2(25-13)	旭川農業
一回戦	旭川北	0(9-12)	旭川大学高

◇旭川支部冬季大会(平成31年2月9日)

一回戦	旭川北	2(25-15)	旭川南
二回戦	旭川北	0(15-25)	旭川明成

◇旭川支部春季大会(平成31年4月20日)

一回戦	旭川北	0(13-25)	旭川西
-----	-----	----------	-----

◇高体連旭川支部予選
(令和元年5月22日)

予選ブロック戦	旭川北	2(25-3)	鷹栖
決勝トーナメント戦	旭川北	0(19-25)	旭川商業

●サッカー部

現在サッカー部は3年生が引退し、2年生9人、1年生11人、マネージャー4人、顧問の安藤先生、木下先生の計26人で活動しています。

北高は進学校で唯一、道北プリンスリーグ1部に所属しています。私たちがこのカテゴリーで戦えるのも先輩達の努力のおかげです。

私たちが1部残留を達成し、後輩達にたすきを託したいと思います。そしてサッカーを続けられる進学校として、地域から愛される活動をしていきたいと思っています。

また高体連や選手権などのカップ戦では長く成果を出せていないので、全道大会進出のニュースを先輩方に届けられるよう頑張ります。これからも応援よろしくお願ひします。

◇2018プリンスリーグ道北1部	4勝2分8敗	7位	1部残留
◇2018選手権	2回戦	旭川農業1-1	PK3-1
◇2018フットサル	予選リーグ	旭川商業4-1	旭川工業5-1

決勝トーナメント	旭川永嶺1-1	PK2-3
2019高体連	2回戦敗退	

一回戦	旭川高専3-1	2回戦	旭大高0-6
-----	---------	-----	--------

●卓球部

卓球部は、3年生が引退し、男子11人、女子5人で日々全力で練習に取り組んでいます。高体連旭川支部大会の結果は、男子団体3位、女子団体3位と全道大会出場にはあと一步届かず、シングルス、ダブルスでも惜しくも代表は獲得できない悔しい結果となりました。

男子は3年連続3位で全道出場をあと一步のところで逃しています。今後はこの悔しさを決して忘れずに、まずは11月の新人戦での男女全道出場を目標に、そして来年の高体連でも、男女ともに全道大会へ出場できるように、日々の練習を怠らずに一生懸命取り組んでいきたいと思っています。応援よろしくお願ひします。

【高体連旭川支部大会予選結果】

○女子学校対抗予選リーグ

旭川北	3-1	旭川西
旭川北	3-1	旭川東
旭川北	2-3	旭川永嶺

○女子学校対抗決勝トーナメント

旭川北	2-3	旭川商業
-----	-----	------

◇男子学校対抗予選トーナメント

旭川北	3-1	旭川南
旭川北	3-2	羽幌
旭川北	3-1	旭川工業
旭川北	0-3	旭川実業
旭川北	1-3	旭川東

●バドミントン部

バドミントン部は男子26人、女子24人の計50人で活動をしています。男女ともに仲が良く、どんな辛い練習でも協力し、毎日明るく練習に取り組んでいます。

顧問の先生をはじめ、OBやOG、大学生や実業団選手の方々など多くの方々の応援とご支援をいただき、昨年度は高体連全道大会で女子団体3位、個人戦ではシングルスでベスト8に入るという結果を残すことができました。また、今年度は10年ぶりに男女ともに団体で高体連全道大会に出場することができました。

今後も、より一層練習に励み、より良い成績を残せるように、そして一番の目標であるインターハイ出場を目指してみんなで切磋琢磨して日々努力していきたいと思っています。

【平成30年度主な大会結果】

◇国民体育大会北海道予選	(平成30年5月11日) 13日	小樽市
少年女子複	中村・岡田	2回戦敗退
◇高体連旭川支部大会	(平成30年5月28日) 30日	旭川市

男子団体	1回戦敗退
女子団体	準優勝
男子複	江刺・西山
男子複	ベスト8

両角・舟根 3 回戦敗退
梅田・石山 2 回戦敗退
中村・岡田 第3位
志摩・高橋 ベスト8

男子単 江測 2 回戦敗退
西山 2 回戦敗退
梅田 1 回戦敗退
中村 準優勝
岡田 ベスト8
志摩 2 回戦敗退

女子単 中村 準優勝
岡田 ベスト8
志摩 2 回戦敗退

◇高体連全道大会
(平成30年6月12日～15日 旭川市)

女子団体 第3位
女子複 中村・岡田 2 回戦敗退
女子単 中村 ベスト8

◇北海道バドミントン選手権大会
(平成30年8月17日～19日 江別市)

高校女子複 岡田・志摩 1 回戦敗退
北海道高等学校新人大会
(平成31年1月16日～19日 北見市)

女子団体 ベスト8
女子複 岡田・志摩 1 回戦敗退

●ソフトボール部

私たちソフトボール部は、「打倒旭商！小野崎先生に勝利を！」を目標に顧問の小野崎先生、本田先生をはじめ、たくさんの方々に支えられながら、日々楽しく一生懸命活動しています。夏は合宿や遠征で練習試合をして経験を積み、冬では個々の技術を上げるために、階段ダッシュや羽打ちをしています。

部員も25名とここ10年間で一番多くなりました。今年の高体連では3年生を中心に守備を鍛えて、2点を先制されながらも逆転で勝利をおさめ、二連覇をすることができ、全道大会でも旭川北高ソフトボール部の新たな一ページに足跡を残すことができました。

新チームでも、先輩方から教わったことを大事にし、新人戦で旭川商業に勝って、また、全道大会に行けるように、感謝の気

持ちを忘れずに日々の練習を頑張っていきたいと思います。どうかこれからも応援をよろしくお願いします。

●応援団

北高応援団は、男子の応援団と女子のチアリーディング部から構成されています。活動目的は、スタルヒン球場で行われる野球部の試合で応援の先導役をすることです。現在、応援団10名、チアリーディング部24名で活動しています。

応援団は団員が少なかったため、歴代、少林寺拳法部が団員を兼部してくれています。チアリーディング部は、野球応援以外にも、学生合同文化祭や北海道音楽大行進などの地域のイベントにも参加し、好評を博しています。個々の技量の向上と、全体の動きの統一感を大切に、日々練習を積み重ねています。

何はともあれ、北高野球部がまた甲子園に出場できるよう精一杯応援し、最後には甲子園球場のスタンドで全校生徒や多くの先輩達と一緒に応援することが、団員の夢です。

●剣道部

今年是新入生5名が入部し、男子4名、女子3名、総勢7名で活動しています。少ない部員ですが先輩たちが築いてきた伝統を受け継ぎ、「全道優勝」を目標に、「人間形成」を目的に日々練習に励んでいます。凛とした姿で澁刺と活躍できる剣道部を目指しています。勉強と部活動は支え合うのではなく、それぞれ強くなる道は同じであるという考えのもと、文武のきりかえをしつかりして高校生活を充実させることができるように努力しています。

今年男女共、ともに団体を組むことができました。高体連は女子3人で大会に出場しました。北高剣道部の伝統を守るために必死に頑張り、なんとか2位で全道大会に出場することができました。全道大会では勝ち上がることはできません

でしたが、今後に向けて貴重な経験を積むことができました。全国大会を目指して練習することはもちろんですが、これからも魅力的な剣道部づくりを目指して頑張っていきたいと思います。

日頃から北高の活動を支えてくださっている方々に、この場を借りてお礼申し上げます。これからもご支援、ご声援のほど、よろしくお願いします。

【平成30年度おもな大会結果】

◇全道段別選手権大会出場
女子三段の部

青池（3年）、丸田（3年）
女子団体2位

◇高体連旭川支部大会
女子団体2位

優勝 青池（3年）、丸田（3年）
3位 丸田（3年）

◇高体連全道大会出場
女子団体、女子個人

青池（3年）、丸田（3年）
男子個人 堀田（3年）

◇国体全道予選出場
男子個人 関（3年）

【令和元年度おもな大会結果】

◇旭川地区少年剣道大会
女子団体3位

◇全道段別選手権大会出場
女子二段の部 柴田（1年）

男子初段の部 小谷（3年）、廣島（1年）
◇高体連旭川支部大会
女子団体2位

◇高体連全道大会
女子団体出場

●男子バスケットボール部

今年度は3年生5名、2年生3名、1年生5名とマネージャー3名の16名で活動しています。昨年度は、人数が少なく、怪我人も多く、1年間を通して5対5の練習ができないという状況でしたが、なんとか春季大会はベスト4に入ることができました。

高体連大会ではシード校と対戦し、残念ながら1回戦で敗退してしまいました。

新チームも人数が少なく、大きな選手もいないという厳しい状況ですが、その分声を出し、活気ある練習を心がけ日々頑張っています。再び全道大会へ出場できるように頑張りますので、応援をよろしくお願いします。

◇選手権旭川予選
1回戦 旭川北 68―43 旭川西
2回戦 旭川北 54―93 旭川実業

◇旭川支部秋季大会
1回戦 旭川北 76―67 旭川明成
2回戦 旭川北 56―125 旭川永嶺

◇新人戦旭川予選
1回戦 旭川北 80―69 旭川南
2回戦 旭川北 64―111 旭川永嶺

◇旭川支部春季大会
1回戦 旭川北 71―55 旭川西
2回戦 旭川北 78―71 富良野

準決勝 旭川北 50―112 旭川工業
4位

◇高体連旭川支部予選会
1回戦 旭川北 47―104 旭川大学

1回戦 旭川北 47―104 旭川大学

●女子バスケットボール部

私たちは、プレーヤー3年生4名、2年生2名、1年生6名、マネージャー1年生1名の計13名で活動しています。部員は少ないですが、限られた練習時間、少ない人数でもそれらをプラスにしてこれまで練習してきました。今年こそ、全道大会出場という目標を達成できるよう、『心を込めて』頑張ります。

◇平成30年度 北海道高等学校バスケットボール選手権大会 旭川地区予選会
1回戦 旭川北 77―75 旭川実業
2回戦 旭川北 36―108 旭川藤女子

2回戦 旭川北 36―108 旭川藤女子

◇平成30年度 旭川支部高等学校バスケットボール秋季大会

1回戦 旭川北 50―71 旭川南

◇第31回 北海道高等学校バスケットボール新人大会 旭川地区予選会

1回戦 旭川北 68―94 旭川龍谷

◇平成31年度 旭川地区春季バスケットボール選手権大会

1回戦 旭川北 48―94 旭川龍谷

◇令和元年度 全国高等学校総合体育大会バスケットボール競技大会 旭川支部予選会

1回戦 旭川北 77―45 旭川西
ブロック代表決定戦 旭川北 46―87 旭川明成

●山岳部

山岳部は、男子3名女子1名を新人部員に迎え、竹中先生、細野先生、及川先生の指導のもと、男子9名女子4名で活動しています。休日はオプタテシケ山・十勝岳・富良野岳などの十勝連峰・芦別岳・天塩岳など近郊の山を登っています。平日は週3回のランニングとストレッチを行っています。雨天の場合は地形図の学習や天気図の学習をしています。また、夏や秋の連休には長期の合宿を組んでいます。7月には3泊4日で利尻岳へ合宿に行きました。フェリーで海を渡り、海拔0メートルからの登山をしました。山頂から海を望むことができました。9月は、山中2泊で天人峡からクワウンナイ川を遡行して、大雪の山を縦走しました。沢で魚を釣って食べたり、たき火をしたりと、充実した3日間を過ごすことができました。

登山に必要な装備や食料は自分たちで準備します。時間はかかりますが、自分たちで準備をすることにより登山により責任を持つことができるようになります。

登山にもインターハイにつながる競技大会があります。登山競技はタイムを競うわけではありませんが、隊行動に遅れない体力と歩行技術があることが上位に入賞する

最低条件です。加えて、ペーパーテストや行動中テストにより山域の自然植生・地質・地形についての知識や、地図を読む力をはかられます。気象に関する知識、幕営技術、調理、装備なども審査され、隊としての総合力がとても大切になります。

近年、地区大会では全国大会の常連である旭川東高校に連勝を許していましたが、今年は男女ともに優勝することができました。全道大会は6月25日～28日の日程で雄阿寒岳と雌阿寒岳で行われます。北高山岳部初のインターハイ出場を目指して頑張っています。

●アーチエリート部

アーチエリート部は3年20名、2年9名、1年9名の計38名で活動しています。

6月5日からキロロリゾートで行われた春季全道大会（高体連）では、かろうじて女子個人と男子個人でインターハイの出場権を得ました。インターハイでは少しでも上位に食い込めるよう、また、来年こそは男女ともに団体で出場できるよう、頑張ります。

現在はインターハイ以外にも、茨城国体への出場や、さらに秋季全道大会（新人戦）で全国選抜大会の出場権を得ることを目標に、練習に励んでいます。なお8月に岩手県で開かれる日韓交流事業・全国高等学校ブロック対抗戦（1・2年生の代表選手による強化事業）に、北海道ブロック代表として本校の男子3名・女子4名が出場予定です。出場する7名にとっては初の全国規模の大会となりますが、多くのことを学び、刺激を受け、今後に生かせたらと思っています。

【春季全道大会（6月、帯広の森）】

男子団体2位

（佐々木、鈴木耕、上西、滝口）

女子団体3位

（梅木、山崎、中川、山本紗）
男子個人3位（佐々木）

5位（上西）
女子個人優勝（中川）

●少林寺拳法部

今年度は、男子11名・女子22名の計33名で活動しています。昨年度の新人戦全道大会では男子規定組演武1位、男子規定組演武2位となり、全国大会出場を果たし、規程単独演武では伊藤が全国3位に入りました。6月の高体連全道大会では残念ながら全国大会出場を逃しましたが、12月の新人戦では男女ともに全国大会に出場できるよう今後も練習に励んでいきたいと思っています。

◇平成30年 新人戦全道大会（12月2日 千歳市総合武道館）

（男子）

団体演武

三井②・長谷川②・山上①・伊藤①・板山①・高橋①組 3位

自由組演武

三井②・長谷川②組 3位

規程組演武

高橋①・武井①組 2位 全国大会出場

板山①・小嶋①組 本選出場

規程単独演武

伊藤① 1位 全国大会出場

山上① 本選出場

（女子）

規程組演武

内田①・前田①組 3位

川越①・富宅①組 本選出場

自由単独演武

森③ 本選出場

◇平成31年 新人戦全道大会（3月23～25日 香川県善通寺市民体育館）

（男子）

規程組演武 高橋・武井 9位

規程単独演武 伊藤 3位

◇令和元年 高体連全道大会（6月15・16日 苫小牧東高校体育館）

（男子）

団体演武

三井③・長谷川③・山上②・伊藤②・

板山②・高橋②組 2位
組演武 三井③・長谷川③組 5位
単独演武 伊藤② 本選出場
総合 3位

（女子）

団体演武

木村③・森③・高岡③・村田③・五十嵐美②・前田②組 3位

組演武

木村③・森③組、高岡③・村田③組

単独演武 川越② 本選出場

●囲碁部

今年度の囲碁部は、5月の全道高等学校囲碁選手権大会に参加し、見事個人7位の成績をあげ、勢いづいています。

練習にも熱がこもり、将棋大会にも参加しながら、自己の棋力の向上を目指しているところです。

現在は、秋の大会を目指して練習に励んでおります。

●吹奏楽部

吹奏楽部は現在、1年生17名、2年生18名、3年生8名の計43名で活動しています。北海道音楽大行進や高文連、学校祭演奏やコンクールなどに向けて、部員全員が一丸となって精力的に練習に励んでいます。

さらに、来る8月18日（日）には、第44回定期演奏会を旭川市民文化会館にて開催いたしますので、是非会場に足を運んでいただきたいと思います。

【平成30年度の活動内容及び成績】

◇高文連上川支部音楽発表大会

発表部門参加

◇北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選

高等学校A編成の部 銀賞

◇第43回定期演奏会開催

（於：旭川市民文化会館大ホール）

◇末広地区ふれあいコンサート参加
◇北海道管楽器個人・アンサンブルコンク

ール旭川地区予選

フルート独奏

金賞

クラリネット八重奏

金賞

金管八重奏

金賞

◎校内活動入学式・新入生歓迎会・野球
応援・北高祭・卒業式等にて演奏

●写真部

こんにちは、写真部です。

私たち写真部は現在1年生7名、2年生6名、3年生7名の20名と顧問の先生2名の22名で活動しています。

写真部の主な活動は、写真甲子園や高文連への出展、学校祭での展示、学校行事や他部活の活動風景の撮影です。時々、旭山動物園などに撮影に行ったり、写真の講師の方に来ていただき、自分の写真についての講評をいただいたり、撮影技術などを学んでいます。

また、昨年度から、様々な写真コンテストへの応募を始めました。自分の写真の評

価を知ることができるといい機会なので、これからも続けていきたいと思っています。

学校祭の展示では、学年ごとにテーマを決めて約200枚の写真を表示しています。また、展示を見に来てくださったお客さんに、気に入った写真について感想を書いてもらうアンケートを実施しています。これにより、自分の写真に対する直接的な評価を知ることができるので、各自で課題を見つけ、今後の撮影へ生かすことができます。

また、他にも特別企画として、文芸部の詩と写真部の写真を組み合わせて1つの作品を作るコラボ展示をしています。

高文連では、6名が全道大会に出場することができました。今年度は、全道大会はもちろん、全国大会へ出場ができるように、部員一同頑張りたいと思います。

◇平成30年度高文連上川支部写真展・研究大会

銅賞

時田 里南

入選

五十嵐結衣

奨励賞

中出 乃重

奨励賞

妻沼 空那(2年)

奨励賞

上村有佳里(3年)

奨励賞

狩野 涼香(3年)

大会

時田 里南

佳作

藤野 恭子

優秀賞

藤野 恭子

◇第5回高校生フォトグランプリ

優秀賞 藤野 恭子

入選

上村有佳里(3年)

入選

狩野 涼香(3年)

◇第34回東川国際フォトフェスティバル

東川ストリートギャラリー2018

全国雑誌掲載

全国雑誌掲載

◇小中高生フォトフェスタ

入選 2・3年

◇写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

●美術部

今年度、美術部は3年生10人、2年生8人、1年生5人の計23人で活動しています。油彩、ペン画、水彩、立体のジャンルで質の高い作品作りを目指しています。

今年の活動は6月、高文連上川地区実技研修会に参加し大学の先生から実技を通して様々な技法を学びました。現在は高文連へ向けての作品制作中ですが、それぞれ自分の描きたいモチーフを探し、個性豊かな作品作りに取り組んでいます。全国総合文化祭にも2年連続の出品となり、今年佐賀県大会へ出場してきました。今年、美術部卒業生の進路は東京藝術大学、金沢美術工芸大学、多摩美術大学等に進学しています。今後も学業と両立しながら活躍することを期待しています。

◇第34回東川国際フォトフェスティバル

入選

上村有佳里(3年)

入選

狩野 涼香(3年)

◇第34回東川国際フォトフェスティバル

東川ストリートギャラリー2018

全国雑誌掲載

全国雑誌掲載

◇小中高生フォトフェスタ

入選 2・3年

◇写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

写真甲子園コラボ版タウンページへの表紙掲載

バイスなどを参考にして技術を磨いています。

また、学校祭では昨年に続き、今年も書道パフォーマンスの発表に向け練習を重ねています。部員同士の連携を大切にし、ご来場の方々に楽しんでいただけるものになるよう頑張っていきたいと思っています。

春休みには上川地区合同合宿に参加しました。10月にある全道大会の開催地が今年旭川ということもあり、今回の合宿は生徒が主体となつて活動する機会が多くありました。合評会や創作活動など、班に分かれて行動する際に、班長の生徒がその場をまとめるなど、普段あまり体験しないことができて、有意義な時間を過ごすことができました。他校の先生方から多くのアドバイスをいただき、また、他校の生徒の作品からたくさん刺激をもらい、これからもさらに頑張っていこうと思える充実した合宿となりました。

これからの書道部は、長年続く伝統を守り、それを後輩に継承していくと共に発展させ、より一層邁進していきたいと思えます。そのためにも自らの課題解決に向けて、日ごろからの努力を惜しまず仲間との協力を大切にしながら活動していきます。

●新聞局

新聞局は主に学校行事を記事にして発行を重ね、学校生活の活性化に努めています。活動を継続していく内に、理解者が少しずつ増え、現在は七名の局員で活動しています。

これまで取り上げた内容は「校内英語スピーチ大会」・「吹奏楽部定期演奏会」・「芸術鑑賞」・「教育実習生の紹介」など多岐に渡ります。また、校内の謎「開かずの扉」・「校門周辺の謎の池」の潜入取材を行い「北高探検隊」という特集記事でその様子を紹介しました。さらに、「噂の検証」という題で、北高のシベリアと呼ばれる旧体育館につながる廊下は、実際にどれくらい寒いのかを調べた記事も書いて、新しい取り組みも増



やしています。また、学校祭だよりを定期的に発行し、学校祭の内容や実行委員のメッセージを全校生徒に伝え、行事に対して意識を高めてもらおうと努めています。

全道大会にも毎年参加しており、北海道高等学校新聞コンクールでは平成23年には奨励賞、25年には優秀賞をいただいています。

新聞の定期的な発行を始めてから現在で9年目。顧問と生徒も新聞作りを一から学びながら製作に取り組んでいます。研修会にも参加して指導を受け、他校の新聞に学びながら、前回よりもさらによいものを目標に活動中です。これからも校内の話題を新聞記事にして面白い新聞作りを目指していきたいと思っています。どうかよろしく願います。

●演劇部

昨年度は劇団氷点華の「踊る氷華高校」に参加し、学校祭で、1年生3人による「せんとう中」、高文連大会で「渋谷でもあった不思議な木の実の話」、春の演劇祭では「Letters」を上映しました。

今年度は1年生3名、2年生1名、3年生4名の計8名で活動しています。去年に引き続き劇団氷点華の「みんなのおしはい」に参加し、北高からは5名がキャストとして活躍し、裏方の仕事にも注力しました。この劇を通じて皆で劇を作り上げていくことの魅力や演じることの難しさ、裏方の仕事の大切さを改めて感じることできたと思います。

この経験をいかし、現在は7月の学校祭での公演に向けた準備の最中です。難しい台本ではありますが、良い劇を作り上げられるよう精一杯努めていきたいと思っています。

●華道部

今年度の華道部は新入部員の男子2名と3年生4名の計6名で活動しています。立岩先生のご指導の下、毎週水曜日に稽古に励んでいます。毎回花材が違うので、難し

いものは上手く扱えないこともありますが、先生の手直しで見違えるように良くなります。

学校祭では北高花展を開き、普段より豪華なお花でのびのびと自分の作品を生

け、さらに全員でセンターピースをつくりあげます。普段はできないような体験なので、部員一同毎年心待ちにしている行事です。秋にはインターネット花展に出品し、生けた作品はカメラで撮影し、ウェブ上に公開され、審査を受けています。全国から作品が集まるのでとても刺激になります。

さらに今年は初の試みとして花フェスタにも出場します。3年生4名のチームで大雪アリーナにて華道のライブパフォーマンスを行います。これまでは他の学校と交流する機会はありませんでしたが、これが視野を広げる良いきっかけになればいいなと思います。

これからの華道部も、歴史ある伝統を受け継ぐのはもちろんのこと、よりよい活動のために進んで新しいことに挑戦していきたいです。華道を通して学ぶことができる日本の四季や心の豊かさを後輩にも伝えていけるように稽古を積んでいきたいと思っています。

●茶道部

令和元年度、一年生の入部は女子四名で、二年生十名、三年生九名、計二十三名で活動しています。ここ数年、残念なことに男子の入部がありません。男子にも積極的に入部を勧めたいと考えています。活動状況は、月曜日は技芸講師の立岩先生のご指導のもと稽古に励み、木曜日は自主練習で、



三年生が中心となり基本練習の席入や帛紗さばき等の割稽古を行っています。また、積極的に校外のお茶会に参加しています。今年は、五月の同門会の春のお茶会、六月は井上靖記念館で催される「赤い実の洋燈茶会」、十月は秋のお茶会などに参加する予定です。

七月の学校祭は、日頃の活動成果を披露できる唯一の場です。より上達したお点前を披露するために昨年から取り組み、各々が時間をみつけてはお点前の練習に励んでいます。

これからも、歴史ある北高茶道部の伝統を受け継いで、茶道を通して礼儀作法や人を心からもてなす精神を学び、心豊かな人間になれるよう稽古を積んでいきたいと思っています。

●インターアクト部

現在私たちインターアクト部は3年生7人、2年生15人、1年生12人の合計34人で旭川北ロータリークラブのご支援のもと、様々なボランティア活動に取り組んでいます。インターアクト部は、インターナショナルとアクションを組み合わせた造語で、国際的な視点に立ち、ボランティア活動を通して地域社会に貢献することを目的としています。人数が多いですが、一人一人が自分の役割を見つけた時には意見を出し合い、よい活動になるように頑張っています。活動内容は次の通りです。これからも頑張っていきたいと思っていますので、よろしくお願ひいたします。

①美化活動

- ・旭川冬まつり会場跡地の清掃活動
- ・春季・秋季ごみのポイ捨て禁止運動への参加
- ・校内内の清掃
- ・学校敷地内および周辺のごみ拾い
- ②募金活動
- ・ペットボトルキャップ・リングブルの回収

- ・赤い羽根共同募金活動の実施ならびに赤い羽根共同募金活動への参加
- ・あしなが学生街頭募金活動への参加
- ・FNSチャリティティー募金活動実施
- ・24時間テレビ募金活動（イオン旭川西店）

③地域との関わり

- ・障害者スポーツ記録大会
- ・旭川市障害者週間記念事業参加
- ・あつたかいねあさひかわ
- ・旭川冬まつり会場ボランティア
- ・学習支援教室（市内小学校）
- ・春光住民児童センター
- ・雪だるまでお出迎え（旭川駅前）
- ④大会参加
- ・国際ロータリー第2500地区インターアクト地区大会
- ・高文連上川支部ボランティア研究大会
- ・高文連全道ボランティア研究大会

●文芸部

1名の卒業生を送り出し、今年度は男子2名女子3名の新入部員を迎え、3年男子1名女子1名、2年男子1名女子3名の合計11名で活動しています。

前年度よりもさらに人数が増加し、部室が一段と賑やかになりました。また、年度末には小説に関する交流会にも参加し、各人のレベルは着実に向上しているものと自負しております。部誌「玉響」は毎年高文連文芸コンクールでも高い評価を頂いておりますが、質ポリウムとともにさらに上を目指し先輩たちから受け継いだ熱い思いを、作品にいかして邁進していきます。

昨年度は上川支部文芸大会が8月下旬に開催され、全部員が活躍しました。その後、10月初旬に旭川で開催された全道大会でも全部員が大健闘し、部誌部門では金賞という栄誉を頂くことができました。

今年度も「書く」ことへの情熱や編集へのこだわりを念頭に、卒業生に続くべく部員一同、互いに高め合いながら、自分たちの最善を尽くして、それぞれの作品そして、

それらを統合させた今できる最良の部誌を作り上げることが目標に活動していきます。

●理科実験研究部

私たち理科実験研究部は3年生が7人、2年生が5人、1年生が5人の計17人で日々部活動をしています。人数はここ数年増加の傾向にあり、個性あふれるメンバーで仲良く全員真摯に部活動に励んでいます。

私たちの普段の活動は、分けるとすると主に3つです。1つ目は、先生が用意してくれた実験や、自分たちで「やりたい」と思った実験をすることです。ただ結果を見て終わりというわけではなく、「なぜこのように反応するのか、どうしてこのようになるのか」を皆で考え、話し合い先生にも質問しながら「科学」というプロセスへの理解に努めています。2つ目はイベントへの参加です。例年通り旭川市科学館で実験を行いました。多くの人にわかっていただけるように実験方法や説明に工夫を加えて、子供から大人まで皆様に楽しんでいただけた。3つ目は高文連へ向けての活動です。前年度から化学だけでなく生物の研究も始めており、学校祭が終わってからにはより熱心に研究し、論文を作成し大会で発表します。昨年度はあまり時間もなくポスター部門での発表となり、賞も一班のみでしたが今年度はより早い段階から研究活動を始めていたので、先生や先輩方の協力を仰ぎつつ尽力していこうと思います。

3年生は引退するまで多くの時間がないので後輩たちになにか大きなものを残したいと思っています。私たちが引退したあとには、また新たなメンバーで理研部がスタートします。そのときに少しでも私たちが先輩から受け継いできた言葉では表せないほどのものを、少しでも感じ取り、また更新してその先へと受け継がれることを願っています。

●ESS

今年度、創部2年目を迎えたESSは顧

問の先生3人、3年生4人、2年生8人、1年生7人で週に2回、海外の文化を学ぶためのパーティーや各種大会参加へ向けた準備などの活動をしています。昨年度はクリスマスパーティーで、メキシコが発祥のピニャータを作って海外の文化を実際に体験しました。3月にはイースターパーティーをとおして、海外のお祭りについて学ぶことができました。また、各種大会への積極的な参加を通じて貴重な経験をしています。

昨年の11月に札幌市で行われた全道高校生ディベート大会では、「日本国は、本人の意思による積極的安楽死を合法化するべきである。是か非か。」という論題でディベートを行いました。明確に賛成・反対をつけることが難しいテーマでした。日本では日常あまり関わることのない「死」ということを議論するために、他国の状況をリサーチしました。このことにより、視野を広げることができたと思います。

また、今年度5月にプレゼンテーション大会に参加しました。「当該学校が所在する市町村により多くの外国人観光客を誘致する施策」というテーマのもと、地域の観光に関する現状やそこから窺える課題を探し、課題解決に向けた取材をとおして普段の生活では関われない方々とコミュニケーションをとることができました。今後も地域のひととの繋がりを大切にしながら、大会やそのほかの活動を全力で楽しんでいきたいと思っています。

【平成30年度大会結果】

第19回 全道高等学校 英語弁論大会
ディベートの部

Aチーム
4 試合中2勝1敗1引き分け
全22チーム中9位

Bチーム
4 試合中2勝2敗
全22チーム中12位

【令和元年度大会結果】

第7回 全道高等学校
英語プレゼンテーションコンテスト

Aチーム
予選Cリーグ16チーム中6位
Bチーム
予選Bリーグ16チーム中5位



●放送局

私たち放送局は1年生10人、2年生5人、3年生3人の18人と顧問の佐々木寿雄先生、副顧問の鈴木証先生で活動しています。

放送局は毎日の生徒の呼び出し放送、北高祭をはじめとする学校行事の音響、撮影、ビデオ編集を行っています。北高祭では準備期間から本祭当日まで仕事が多く大変ですが、その分やりがいを感じられます。また、校内の活動だけでなく、年に2回ある大会や、まちなか学生映画祭などのイベントにも参加しています。

今年度のNHK放送コンテスト上川地区大会では、アナウンス部門5位、朗読部門4位、テレビドラマ部門4位、ラジオドキュメント部門5位で全道大会に出場することができました。さらに今年は去年に引き続き、自転車啓発街頭放送も制作させていただきました。

今後も局員全員で努力し、さらに活躍できるよう頑張ります。

●生徒会執行部

旭川北高校の生徒会執行部は現在、3年生8名、2年生16名、1年生7名の計31名で活動しています。北高の生徒会の主な仕事は、新入生歓迎会、北高祭、体育大会、クリスマスイベントなどの行事の企画・運営です。なかでも、北高祭は最も大きな行事で、執行部内で9つのセクションに分かれてそれぞれが別々の仕事を担当します。

このような行事の運営で私たち執行部員が大切に行っていることは「連携」と「反省」です。特に大きな行事の運営となるとセクション間での連携をついとい怠ってしまう。ですから、報告・連絡・相談をしっかりとし、大きなミスが発生する前に修正することを心がけています。また、行事が終わった後に必ず反省会を行うようにしています。

北高の生徒会執行部は人数が多いため、それをいかし、様々な視点から改善点や解決策を挙げて次に繋げています。そうすることで、年を重ねるごとに問題が解決されていき、新たな試みも行いやすくなっています。

私たち執行部はこれから行事の企画・運営を中心に様々な活動を行っていきますが、そのためには全校生徒や先生方、地域の方々の協力が欠かせません。今後もしっかりに感謝しながら全力で活動を行っていきましょう。同窓会の皆様もお時間がございましたら、是非、私たちの活動を見に来てください。北高生一同、心よりお待ちしております。

最後になりましたが、これからも旭川北高校生徒会執行部をよろしく願っています。

旭
川
北
高

同窓会役員・幹事名簿

●同窓会役員名簿

役 職 名	氏 名	卒業期
顧 問	山形 積治	北 8
顧 問	西館 勝友	北13
顧 問	八重樫和裕	北18
顧 問	川島 崇則	北18
会 長	尾崎 信彦	北25
副会長	潮 日出夫	北25
副会長	吉村 千鳥	北25
副会長	山本 淳一	北28
副会長	山川 国土	北31
副会長	酒井 保則	北41
副会長	近藤 博之	北43
会計監査	市山 力三	北17
会計監査	庄司 和晴	北18
総務部長	田中 充	北25
総務副部長	菅原 徹	北32
総務副部長	小枝 万美	北32
総務副部長	城 裕一	北25
総務副部長	水口 貴浩	北39

役 職 名	氏 名	卒業期
会計部長	富田 公裕	北25
会計副部長	園田 和宏	北33
文化部長	木村 公俊	北25
文化副部長	山中いつ子	北19
文化副部長	鈴木 弥生	北25
文化副部長	平間 明鑑	北26
文化副部長	小菅千賀子	北29
文化副部長	赤松 浩恵	北30
校内担当	油屋 正	北29
校内担当	本田 晴樹	北32
札幌会会長	山川 広行	北25
札幌会副会長	加門 清	北25
札幌会事務局	松原 幹昌	北31
会計監査	赤坂 誠司	北33
東京会・顧問	山口 哲男	北18
東京会会長	柿林 博司	北22
東京会副会長	鈴木 隆文	北25
岩手会会長	牛崎 鏖二	北 6

●各期幹事長名簿【定時制課程】

卒業年度	期	氏名
昭32定卒	1	山崎 安光
昭33定卒	2	小泉 貢
昭34定卒	3	
昭35定卒	4	谷口 省一
昭36定卒	5	小林 成史
昭37定卒	6	金山 紘一
昭38定卒	7	森下 義治
昭39定卒	8	窪田 冠治
昭40定卒	9	小野寺 勤
昭41定卒	10	小林 輝雄
昭42定卒	11	千葉青次郎
昭43定卒	12	田村 篤
昭44定卒	13	神藤 茂春
昭45定卒	14	大屋 秀行
昭46定卒	15	深谷富美雄
昭47定卒	16	奥山 寿雄
昭48定卒	17	錦川 敏文
昭49定卒	18	堀井 敏明
昭50定卒	19	千村 敦雄
昭51定卒	20	
昭52定卒	21	小柳 智弘
昭53定卒	22	菅野 敏彦
昭54定卒	23	泉 誠
昭55定卒	24	柴田 仁
昭56定卒	25	川方 和人
昭57定卒	26	中原 泰司
昭58定卒	27	山中 敏行

卒業年度	期	氏名
昭59定卒	28	日塔 浩之
昭60定卒	29	太田 房枝
昭61定卒	30	入野 直美
昭62定卒	31	上林山健次
昭63定卒	32	篠原 誠
平 1 定卒	33	窪田 竜三
平 2 定卒	34	新見 稔
平 3 定卒	35	西尾 悟
平 4 定卒	36	浅井 智希
平 5 定卒	37	大橋 恵子
平 6 定卒	38	早川 立人
平 7 定卒	39	細田 勝巳
平 8 定卒	40	遠藤 智康
平 9 定卒	41	菅原臣一郎
平10定卒	42	岡本 香織
平11定卒	43	渡辺加代子
平12定卒	44	日野 洋一
平13定卒	45	島崎 匡世
平14定卒	46	福島 達
		多田 妙子
平15定卒	47	白田 由佳
		船田 美咲
平16定卒	48	眞田 功嗣
		白井 道恵
平17定卒	49	渡部 勇太
		田中 裕梨
平18定卒	50	齊藤 尚也

卒業年度	期	氏名
平18定卒	50	越山 宏恵
平19定卒	51	小松 純
		笠間まどか
平20定卒	52	大槻 法仁
		石神 明希
平21定卒	53	澤田 涼子
		釜澤 佑紀
平22定卒	54	阿部 貴大
		三浦 淑美
平23定卒	55	白河 卓也
		村岡 愛恵
平24定卒	56	船越 信幸
		大野 春花
平25定卒	57	衛藤 顕太
		辻 江梨花
平26定卒	58	佐藤 健児
		及川 紗希
平27定卒	59	川田 雄也
		千葉 智生
平28定卒	60	千葉藤吉郎
		今野 玲奈
平29定卒	61	今野 修人
		高瀬 弘里
平30定卒	62	菅原 悠介
		木元 実結
平31定卒	63	船越 裕晃
		鳴海 楓

●各期幹事長名簿【全日制課程】

卒業年度	期	役職名	氏名
昭21卒	市中1		
昭22卒	市中2	幹事長	吾妻 充
		副幹事長	西村 廣
		副幹事長	畠山 昇子
昭23卒	市中3	幹事長	谷口 孝
昭24卒	市中4	幹事長	間 仁一
	市高1	副幹事長	石崎 一夫
		幹事	北原 高男
昭25卒	市高2	幹事長	工藤 博視
昭26卒	1	幹事長	寺林 靖夫
昭27卒	2	幹事長	林 徹男
昭28卒	3	幹事長	小川 幹雄
		副幹事長	五十嵐 正
昭29卒	4	幹事長	干場 武司
昭30卒	5	幹事長	波岸 順子
昭31卒	6	幹事長	阿部 信行
		副幹事長	九軒 勝志
昭32卒	7	幹事長	瀬川 哲男
昭33卒	8	幹事長	黒須 昌子
昭34卒	9	幹事長	鈴木 紀明
昭35卒	10	幹事長	中村 秀雄
		副幹事長	中辻 透
昭36卒	11	幹事長	谷中 則親
昭37卒	12	幹事長	平賀 久靖
		副幹事長	細谷美代子
昭38卒	13	幹事長	石田 邦光
昭39卒	14	幹事長	城 章一
昭40卒	15	幹事長	横山 直史
昭41卒	16	幹事長	廣田 秀美
		副幹事長	斉藤佐智枝
昭42卒	17	幹事長	加藤 修
		副幹事長	大川 孝一

卒業年度	期	役職名	氏名
		副幹事長	石田由美子
昭43卒	18	幹事長	庄司 和晴
		副幹事長	池田 定博
昭44卒	19	幹事長	植村 俊幸
		副幹事長	鳴海 範子
昭45卒	20	幹事長	林 仁彦
昭46卒	21	幹事長	石田 悟
昭47卒	22	幹事長	菊地 一孝
昭48卒	23	幹事長	青山 隆之
昭49卒	24	幹事長	小泉 英一
昭50卒	25	幹事長	山内 一頼
昭51卒	26	幹事長	煙山 泰也
昭52卒	27	幹事長	野村 寛
昭53卒	28	幹事長	持丸 昭郎
昭54卒	29	幹事長	今宮 克明
昭55卒	30	幹事長	原田 一志
昭56卒	31	幹事長	西分 健二
昭57卒	32	幹事長	澤田 俊哉
昭58卒	33	幹事長	久保 友孝
昭59卒	34	幹事長	飛弾野文彦
昭60卒	35	幹事長	児玉 賢一
昭61卒	36	幹事長	江渕 賢一
昭62卒	37	幹事長	高田 和憲
昭63卒	38	幹事長	武田 要
平 1 卒	39	幹事長	大柳 智裕
平 2 卒	40	幹事長	富樫 明樹
平 3 卒	41	幹事長	村田 朋輝
平 4 卒	42	幹事長	細山 崇
平 5 卒	43	幹事長	佐藤 誉博
平 6 卒	44	幹事長	今村 速人
平 7 卒	45	幹事長	武田 奈央
平 8 卒	46	幹事長	上北 泰志

卒業年度	期	役職名	氏名
平 9 卒	47	幹事長	長町 康隆
平10卒	48	幹事長	松井 智弘
平11卒	49	幹事長	池田 謙治
平12卒	50	幹事長	阿部 好幸
平13卒	51	幹事長	宇井 辰徳
平14卒	52	幹事長	大友 健司
平15卒	53	幹事長	野田 仁哉
平16卒	54	幹事長	楠美 拓也
平17卒	55	幹事長	北川 智貴
平18卒	56	幹事長	和賀 裕則
平19卒	57	幹事長	福森 翔太
平20卒	58	幹事長	川西 雄太
平21卒	59	幹事長	泉澤 知宏
平22卒	60	幹事長	和賀 俊太
平23卒	61	幹事長	島田 沙理
		副幹事長	佐藤 公耶
平24卒	62	幹事長	丸尾 秀樹
		副幹事長	平岡はるな
平25卒	63	幹事長	東崎 千晶
		副幹事長	吉澤 圭祐
平26卒	64	幹事長	渡辺 悠介
		副幹事長	金子ちひろ
平27卒	65	幹事長	古屋 龍
		副幹事長	下原みのり
平28卒	66	幹事長	吉野竜太郎
		副幹事長	田口 春香
平29卒	67	幹事長	白崎 優太
		副幹事長	三井 沙耶
平30卒	68	幹事長	倉橋 高矢
		副幹事長	井上 遥葉
平31卒	69	幹事長	中谷 紫温
		副幹事長	水野 花菜

幹事の皆様大変ご苦勞様です

◎各期幹事に異動がありましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

【自 宅】〒070-0876 旭川市春光6条2丁目4-2 田 中 充
TEL (0166) 55-0931 携帯電話 090-7650-8061

【勤務先】旭川市立忠和中学校 TEL (0166) 61-5300

当番期



第54回 同窓会実行委員長

北高43期 佐藤 誉博

第54回旭川北高等学校同窓会総会・懇親会の開催に当たりまして、ご挨拶を申し上げます。

ご来場いただきました皆様、会券をご購入いただきました皆様、広告協賛にご協力いただきました皆様、誌面上ではございますが、厚く御礼申し上げます。また、温かいご助言やご支援をいただきました同窓会本部役員ならびに先輩幹事の皆様、誠にありがとうございます。

思い起こせば、サブ幹事としてのお手伝いを終えてから、この当番期を迎えるまでは、同期との懐かしい再会を同窓会の場で繰り返しいただけた自分が、今回はその一端を演出させていただける立場になるということで、光栄な気持ちと不安な想いが交錯し続けた1年間でした。

昨年に引き継いだ膨大な資料を手にして、途方に暮れかけた時もありましたが、同窓会の成功を目指し、高校時代のあの頃みたい

に、輪になった仲間と共に歩を進めた一連の作業。仕事や家事の合間を縫っての準備は、簡単には進みませんでした。すべてが良いい思い出に変わると思います。

お力をお貸しくださった多くの皆様と、同期の皆様へ、無事開催にたどり着けたこと、心より感謝いたします。

「43期は、どんなときも最高の仲間。そう、これが北高。本当にありがとうございます！」

SNSの普及により、同窓生の近況が簡単にわかる時代となっており、友人たちが常に身近にいるような錯覚も起こしますが、顔を合わせて会話を弾ませることが、大切な繋がりと感じています。

新元号「令和」になって最初の北高同窓会が、ご来場いただいた皆様の記憶に長く残る会となれば幸いです。旭川北高ならびに旭川北高校同窓会の益々のご発展を祈念いたしまして、当番期代表のご挨拶とさせていただきます。

次期当番期



第55回 同窓会実行委員長

北高44期 今村 速人

早いもので北高を卒業してから25年。噂には聞いておりましたが、私たちの代にもいよいよ同窓会幹事が廻ってきました。

つい先日、5月に行われた今期当番期のみなさんが主催された今年度同窓会の事前報告会に次期当番期として出席させていただきました。今期当番期のみなさんから今後の流れや準備の進め方等についてご指導頂き、改めて第55回同窓会の成功に向け、できる限りのことをやっていく決意をしたところであります。

これから同期の仲間を集め、役割分担していくことになりませんが、私たちの役目は本当にまだ始まったばかり。この度同席した友人はもとより、これから同窓会成功のために力を貸してくれるであろう仲間たちとともに、結束を固め、意志疎通を高めた上で次年度の同窓会をぜひ成功させたいと思います。私が毎年仲間内で行っている新年同窓会に出席してくれている友人も数名おりますので、そのネットワークも活用し、多くの仲間

たちを集め、皆で協力し参加されるみなさんに楽しんでいただける会を目指したいと思います。

まだ実際の準備にはこれから取り掛かる状態で、完全に手探りのスタートではありますが、諸先輩方が築かれた歴史に一後輩として参加させていただくことを誇りに思い、かつ諸先輩方のこれまでの足跡を汚さぬよう責任を持ってしっかりと務めてまいりたいと思います。

この同窓会が素晴らしい再会の場、そして新たな出会いの場ともなるよう実行委員会としての責務を全うし、次々年度当番期の方々にも自信を持ってバトンを渡せるよう成功させる所存ですので、諸先輩方におかれましては今後とも、何卒ご指導いただけますよう、よろしく願います。

最後になりますが、旭川北高同窓会並びに母校の今後の更なる発展、旭川北高同窓生、在校生の益々のご多幸を祈念いたしまして、次期当番期を代表しての挨拶とさせていただきます。

第 54 回
旭川北高同窓会総会



そう、これが北高。

—— 輪になろう あの頃みたいに ——

旭川北高同窓会公式ウェブサイト

<http://kitako-dousou.com>



応 援 歌



応 援 歌

高橋国二 作詞
熊崎清志 作曲

一、熱^{ねっ}せる血^ち潮^{しほ}や 健^{けん}児^にの気^き
栄^{えい}誉^よ燦^{さん}たり 我^{われ}が友^{とも}よ
その名^なも高^{たか}き^(北^{ほく}市^し高^{こう}中^{ちゅう})の

戦^{たたか}わん意^{いき}気^きも 火^ひの如^{ごと}し
見^みおや祖^そ国^{こく}の 中^{ちゅう}堅^{けん}と
その名^なも高^{たか}き^(北^{ほく}市^し高^{こう}中^{ちゅう})の

邀^{むか}える敵^{てき}も 何^{なん}のそ^{その}
鍛^{たん}えあ^あげ^げた^たる
勝^{から}関^{かん}あ^あげ^げむ 我^{われ}を見^みよ
天^{てん}にも轟^{とどろ}く 万^{ばん}才^{さい}の
優^{ゆう}勝^{しょう}の旗^{はた}う^うち振^ふりて
青^{あお}空^{ぞら}高^{たか}き^(北^{ほく}市^し高^{こう}中^{ちゅう})



旭川北高同窓会だより 第43号 令和元年8月10日発行

発行所／旭川北高等学校同窓会（旭川市花咲町3）

発行人／同窓会会長 尾崎 信彦

編集／旭川北高等学校同窓会文化部・旭川北高等学校同窓会第54回総会実行委員会

印刷／株総北海 旭川市工業団地2条1丁目1番23号 TEL(0166)36-5556

第54回 旭川北高等学校 同窓会総会

◇総会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 校 歌 斉 唱
3. 来 賓 紹 介
4. 同 窓 会 会 長 挨 拶
5. 来 賓 挨 拶
6. 議 長 団 選 出
7. 議 事
 - (1) 会 務 報 告
 - (2) 会 計 報 告
 - (3) 会 計 監 査 報 告
 - (4) 役 員 改 選
 - (5) 新 旧 役 員 挨 拶
 - (6) 次 期 当 番 期 紹 介
 - (7) そ の 他
8. 議 長 団 退 任
9. 招 待 期 へ の 記 念 品 贈 呈
10. 閉 会 の こ と ば

◇懇親会次第

1. 開 会 の こ と ば
2. 実 行 委 員 長 挨 拶
3. 開 演
 - (1) 応 援 歌 斉 唱
 - (2) 乾 杯
 - (3) アトラクション
4. 次 期 当 番 期 代 表 挨 拶
5. 結 び (北 高 万 歳 三 唱)